富田林市埋蔵文化財調査報告23

喜志西遺跡発掘調査概要Ⅱ

1993. 3

富 田 林 市

はじめに

富田林市内では近年、開発に伴う埋蔵文化財の事前調査が増加してまいりました。市内北部に位置する喜志西遺跡周辺でも近鉄長野線の喜志駅を中心にして旧国道170号線と外環状線を東西に結ぶ喜志バイパスが計画され、1987年度から大阪府教育委員会によって発掘調査が行われています。今回はその調査の続きと喜志駅東口新設工事に伴う発掘調査を平成3年度の事業として実施いたしました。

喜志西遺跡は1982年、喜志駅西側の整備事業に伴う試掘調査で発見されて以来、十数度の発掘調査が本市教育委員会と大阪府教育委員会とで行われ、遺跡の性格もしだいに明らかになってまいりました。とりわけ、弥生時代の喜志西遺跡は当遺跡より北東500mに位置する喜志遺跡の墓域ではないかと考えられています。今回の調査ではこの弥生時代の遺構に関連する資料は発見されませんでしたが、中世以降の喜志西遺跡を知る上では重要な資料となると思われます。

調査の実施にあたってご指導ならびにご協力いただきました各位に深く感謝申しあげます。

1993年3月

富田林市市長

内田次郎

例　　言

1. 本書は、富田林市教育委員会が富田林市役所都市整備部都市整備課の依頼を受けて実施した、喜志駅東口新設工事及び（府道美原太子線）喜志バイパス道路事業に伴う喜志西遺跡の平成3年度発掘調査事業の概要報告書である。
2. 調査は、富田林市教育委員会社会教育課　松本徹を担当者とし、現地調査は平成3年11月1日に着手し、平成4年3月31日に終了した。また、内業調査は平成4年4月1日から平成5年3月31日まで実施した。
3. 調査を実施するにあたり、下記の諸氏から格別の助言や援助を受けた。記して感謝の意を表します。（敬称略）
   北野耕平（神戸商船大学・富田林市文化財調査会委員）
   山中一郎（京都大学）・枡本哲（大阪府教育委員会）
   森山義博（大阪府立富田林高等学校）
4. 本書の執筆は、各々文末に記すものがあたった。
5. 本書の編集は、松本・中辻亘・粟田薫が行った。

調査参加者

〈調査員〉
粟田　薫・楠木理恵・中野篤史

〈調査補助員〉
秋山敦子・浅野憲一・伊藤三和・井原　稔・植木佐知子
植木淳子・植田友佳子・上田幸勝・大橋滋明・岡本亮江
川合和代・九野せゑぬ・竹川尚子・頓宮貴美恵・中岡　勝
平方扶左子・廣野知子

〈作業員〉
岩井節子・小田信代・西澤寿子・沼間恵子・原田亮子
藤丸祐子・前野美智子・矢野早苗・山本節子・渡辺サダ子

本　文　目　次

頁

Ⅰ　位置と環境 …… 1
Ⅱ　調査に至る経過 …… 2
Ⅲ　層序及び遺構 …… 3
　1　層序 …… 3
　2　遺構 …… 4
Ⅳ　出土遺物 …… 15
　1　土器 …… 15
　2　石器 …… 20

表　目　次

表1　遺構一覧表 …… 5～10
表2　細部調整剥片観察表 …… 30
表3　剥片観察表（1） …… 31～32
表4　剥片観察表（2） …… 33～34

挿　図　目　次

挿図1　周辺遺跡分布図 …… 1
挿図2　調査区位置図 …… 2
挿図3　調査区東壁断面図 …… 3
挿図4　第1面　遺構平面図 …… 11～12
挿図5　第2面　遺構平面図 …… 13～14
挿図6　出土土器 …… 17
挿図7　出土石器（石鏃、石槍、石錐、クラクトン型ノッチ） …… 22
挿図8　出土石器（削器） …… 24
挿図9　出土石器（削器、ピエス・エスキエ、彫器、石核） …… 26
挿図10　出土石器（石核） …… 27
挿図11　出土石器（ハンマー） …… 28

図　版　目　次

図版 1　（上）喜志西遺跡遠景（北から）

（下）調査地遠景（西から）

図版 2　（上）調査区北部第Ⅰ面全景（南から）

（下）　同　上　（北から）

図版 3　（上）第 1 面土壙 5 全景（北東から）

（下）第 1 面ピット 26 全景（東から）

図版 4　（上）調査区西部第 1 面全景（東から）

（下）　同　上　（西から）

図版 5　（上）調査区南部第 1 面全景（東から）

（下）　同　上　（西から）

図版 6　調査区北部第 2 面航空写真

図版 7　調査区西部第 2 面航空写真

図版 8　調査区南部第 2 面航空写真

図版 9　石器（石鏃、石錐、削器、ピエス・エスキエ）

図版 10　石器（彫器、石槍、クラクトン型ノッチ、石核）

図版 11　石器（石核）

図版 12　石器（削器、ハンマー）・土器（蓋杯）

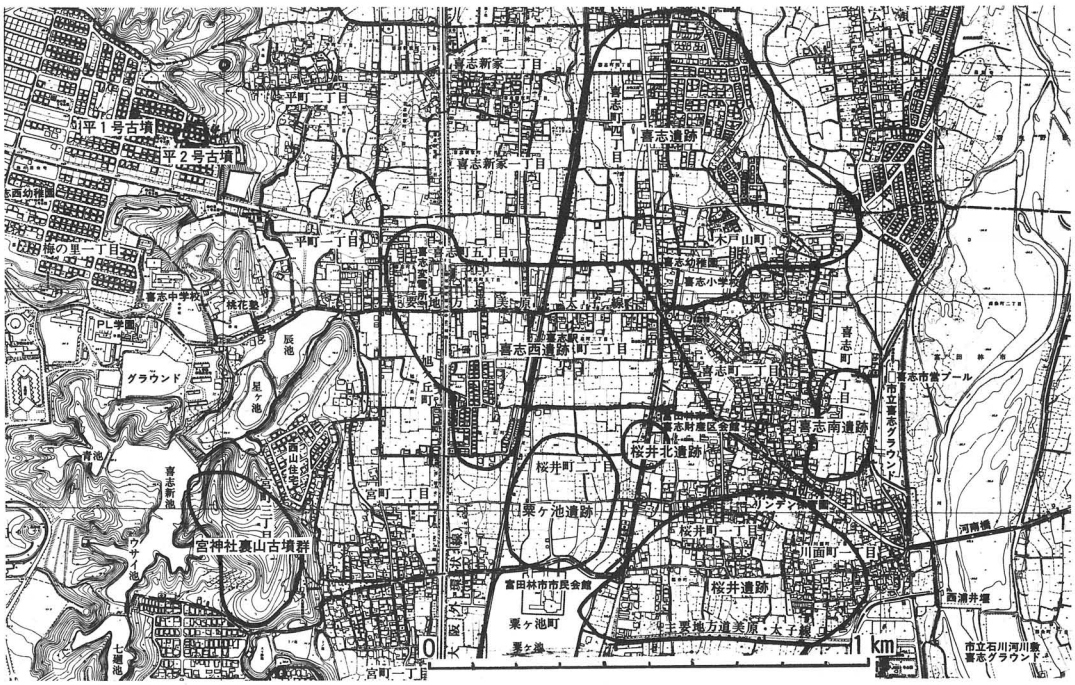
Ⅰ　位置と環境

富田林市は大阪府の南東部、東は金剛・生駒山系の丘陵地、西は羽曳野丘陵の一角を占め、こうした丘陵地帯の間を石川が北流して形成された河岸段丘に位置する。

喜志西遺跡は、1982年に近鉄南大阪線喜志駅西側の整備事業に伴い、本市教育委員会が実施した試掘調査によって発見、周知された遺跡である。本遺跡は市域の北端部にあって、大阪府富田林市旭ヶ丘町および喜志町3丁目に位置する。本遺跡の西方には、羽曳野丘陵が南北にのび、東方には石川が北流している。羽曳野丘陵と石川との間に形成された河岸段丘面には、本遺跡をはじめ多くの集落遺跡等が分布し、また、これらの遺跡を見おろす羽曳野丘陵東麓には、多くの古墳が営まれている。

本遺跡の北東には、弥生時代中期の集落址である喜志遺跡がある。また、南方約1.5㎞には弥生時代中期から中世に至る集落址である中野遺跡があり、喜志・中野両遺跡はサヌカイト製石器未製品やサヌカイト剥片を大量に出土することで著名である。

本遺跡の南方約700ｍには、開析谷を塞き止めて造られた粟ヶ池があり、周辺には、遺物散布地をはじめ古墳時代後期から中世に至る桜井遺跡、さらに中世の集落址である中野北遺跡がある。



挿図１　周辺遺跡分布図

Ⅱ　調査に至る経過

喜志西遺跡は、1982年に近鉄長野線喜志駅西側の駅前整備事業に伴う試掘調査によって発見された。この頃から、喜志駅を中心として旧家屋や店舗の建て替えが活発になりはじめ、調査件数が増えてきた。これに加えて、近鉄線を東西に跨ぐ駅北側の府道美原太子線の交通渋滞緩和のため、大阪府土木部ではかねてから地元の要望が強かった喜志バイパス新設を計画した。この計画道路は喜志西遺跡に係るため、大阪府教育委員会で1987年度と1989年度に発掘調査が行われてきた。

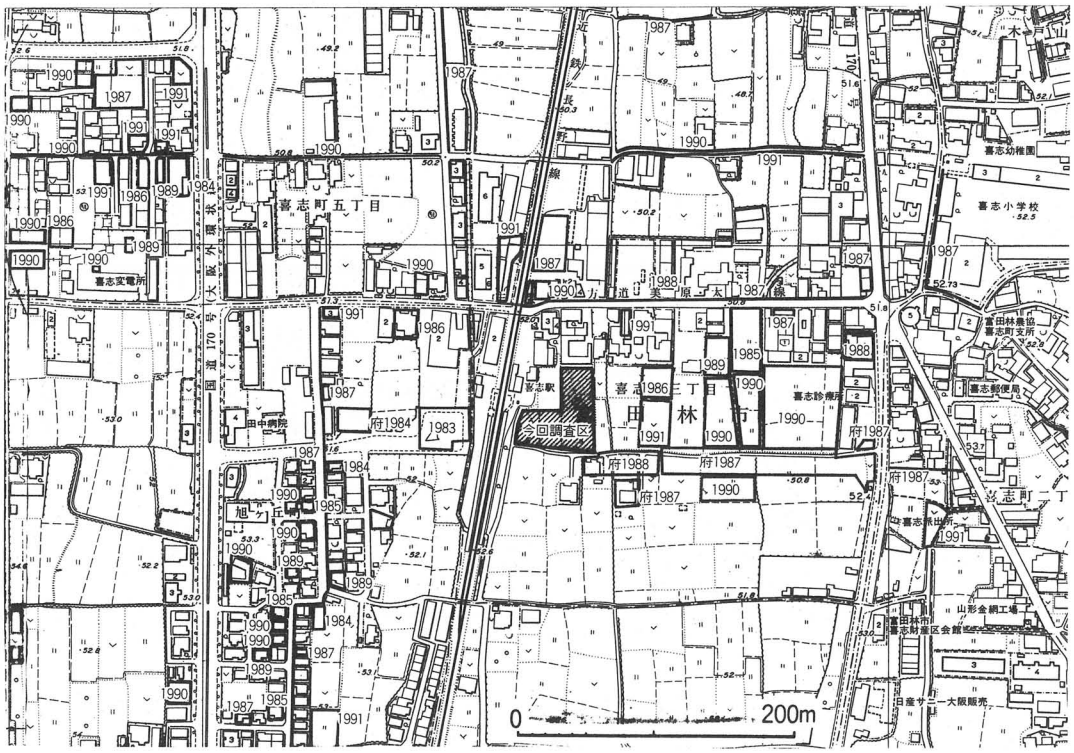
今回、富田林市教育委員会が発掘調査を行ったのは、喜志駅東口新設事業及び上述の大阪府教育委員会が2度にわたって行った喜志バイパス道路事業に伴う発掘調査のつづきである。調査面積は1890㎡（内、喜志バイパス道路事業は756㎡）で、調査は3回に分けて行った。第1回は北部、第2回は西部、第3回は南部である。調査期間は1991年11月1日から1992年3月31日までの工期で行なった。

（中辻）

富田林市教育委員会『喜志西遺跡発掘調査概要』1986

大阪府教育委員会『喜志西遺跡発掘調査概報』1988

大阪府教育委員会『喜志西遺跡発掘調査概報・Ⅱ』1990



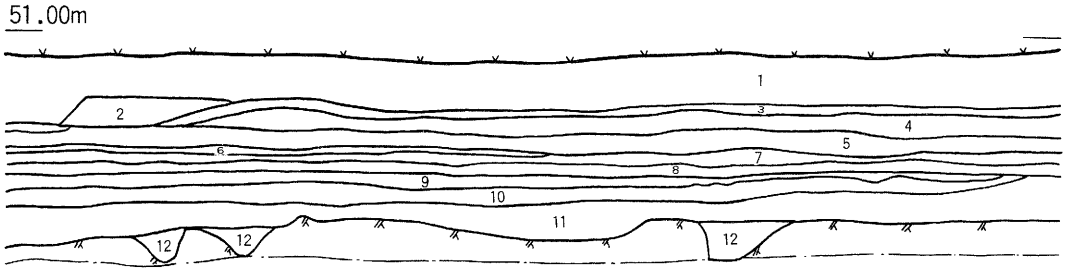
挿図2　調査区位置図

Ⅲ 層序及び遺構

1 層 序

調査区の基本層序は、現･旧耕土（第1～4層）の下に中世の遺物包含層である。すなわち、地表下15～30㎝が耕土･床土（第1･2層）その下に茶黄灰色砂質土が厚さ10～15㎝、及び茶灰色土が厚さ10～20㎝（第3層）で堆積する。茶黄灰色砂質土は調査区の南側では薄く5㎝ほどで、中央部で厚く堆積し、北側で耕土面が一段下がり、茶灰色土として、堆積する。その下に、黄灰色砂質土が厚さ10～15㎝（第4層）で堆積する。第4層は調査区の北側で耕土面が一段下がる所に部分的に堆積する灰黄色砂質土、黄灰色弱粘質土を含む。その下に、厚さ5～10㎝の灰黄色粘質土、及び5～10㎝の灰黄褐色土（第5層）、10～15㎝のマンガンを含む灰黄色土（第1次遺構埋土）、さらに10～25㎝の厚さで褐灰色粘質土（第6層）地山の順に堆積する。

（中野）



1．耕土
2．淡灰茶色土
3．床土
4．茶黄灰色砂質土
5．黄灰色砂質土（マンガン含む）
6．灰黄色砂質土
7．黄灰色弱粘質土
8．灰黄色粘質土
9．灰黄褐色土
10．灰黄色土にマンガン混入
11．褐灰黄色粘質土
12．淡灰黄色土がブロック状にまじる灰褐色土

挿図3　調査区東壁断面図

2 遺　構

検出した遺構としては、溝4、土壙106、ピット182がある。遺構は2面あり、第6層上面で第1面が検出された。(挿図4)。第1面には溝1～3、土壙1～5、ピット1～12、14～29がある。第2面は第7層上面の地山で検出された（挿図5）。第2面には溝4、土壙6～106、ピット13、30～182がある。以下、溝について記述する。なお、土壙、ピットについては遺構一覧表に記述した。

第1面

溝1

調査区南西部を北西に流れた後、角度をかえて、北東に流れ、再び、北西に流れをかえた逆S字状の溝である。最大幅2.0 m、深さ0.21 mを測る。

埋土は灰黄色土である。

遺物には、土師器、石鏃（挿図6－4）がある。

溝2

調査区南西部を溝1にほぼ平行して、北東に流れる溝である。最大幅0.8 m、深さ0.06 mを測る。

埋土は暗灰黄色土で、マンガンを多量に含む。

遺物は出土していない。

溝3

調査区の南東隅で検出された西に流れる溝である。最大幅1.95 m、深さ0.27 mを測る。

埋土は灰黄色土である。

遺物には、生駒西麓の胎土をもつ中期の弥生土器片が出土しているが、溝3の時期とは直接関係しない。

第2面

溝4

調査区の南東隅、溝3の下で検出された溝で、東端部は調査区外にあるため不明である。最大幅0.38 m、深さ0.251 mを測る。

埋土は濁黄灰色土である。

遺物は出土していない。

（松本）

種 別	形 状	規 模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
土壙1	不整形	2.95×2.25	0.030	暗灰黄色土				
土壙2	不整形	6.89×(6.18)	0.095	暗灰黄色土				
土壙3	不整形	4.27×2.72	0.310	灰黄色土				
土壙4	不整形	3.33×1.43	0.310	灰黄色土				
土壙5	不整形	4.15×2.50	0.230	暗灰青褐色粘土質				
土壙6	不整形	3.04×1.28	0.224	暗灰褐色土				
土壙7	不整形	3.18×1.39	0.712	暗灰褐色土				
土壙8	不整形	2.78×1.20	0.218	褐灰黄色土				
土壙9	不整形	2.18×0.75	0.266	灰褐色粘土質				
土壙10	不整形	3.75×0.61	0.212	褐灰黄色土				
土壙11	不整形	1.46×1.03	0.099	褐灰黄色土				
土壙12	不整形	2.97×(0.56)	0.126	灰褐黄色土				
土壙13	不整形	3.55×1.35	0.683	褐灰黄色土				
土壙14	不整形	1.29×0.43	0.306	褐灰黄色土				
土壙15	不整形	1.90×0.98	0.446	褐灰黄色土				
土壙16	不整形	2.17×0.88	0.276	褐灰黄色土				
土壙17	不整形	1.97×1.30	0.108	褐灰黄色土				
土壙18	不整形	8.64×1.75	0.947	暗灰褐色土				
土壙19	不整形	1.23×0.71	0.115	褐灰黄色土				
土壙20	不整形	1.78×0.62	0.172	暗灰褐色土				
土壙21	不整形	1.79×0.87	0.156	褐灰黄色土				
土壙22	不整形	1.25×(1.06)	0.188	褐灰黄色土				
土壙23	不整形	3.03×(0.68)	0.287	暗灰褐色土				
土壙24	不整形	1.55×0.59	0.140	褐灰黄色土				
土壙25	不整形	3.57×1.12	0.246	褐灰黄色土				
土壙26	不整形	5.06×1.12	0.359	褐灰黄色土				
土壙27	隅丸方形	1.15×1.02	0.352	褐灰色粘土質				
土壙28	不整形	1.75×0.74	0.418	灰褐黄色土				
土壙29	不整形	2.85×0.84	0.437	灰褐黄色土				
土壙30	不整形	2.72×1.65	0.572	暗灰褐色土				
土壙31	不整形	1.97×1.01	0.142	暗灰褐黄色土				
土壙32	不整形	2.34×0.68	0.160	灰褐黄色土				
土壙33	不整形	2.49×0.89	0.436	灰褐黄色土				
土壙34	不整形	2.00×0.80	0.108	灰褐黄色土				
土壙35	不整形	2.30×1.14	0.236	灰褐黄色土				
土壙36	不整形	11.18×3.90	0.834	灰褐黄色土に褐灰黄色土				
土壙37	不整形	3.30×1.63	0.840	灰褐黄色土				
土壙38	不整形	2.07×0.72	0.484	灰褐黄色土				
土壙39	不整形	2.19×1.06	0.530	褐灰黄色土				
土壙40	隅丸方形	1.02×0.80	0.173	暗灰褐黄色土				
土壙41	不整形	0.79×0.50	0.056	灰褐黄色土				
土壙42	不整形	0.94×0.72	0.179	灰褐黄色土				
土壙43	不整形	0.78×0.63	0.216	灰褐黄色土				
土壙44	不整形	1.14×0.69	0.161	灰褐黄色土				
土壙45	不整形	1.22×0.69	0.149	灰褐黄色土				
土壙46	不整形	4.01×2.19	0.433	暗灰褐黄色土				
土壙47	不整形	0.90×0.63	0.185	灰褐黄色土				
土壙48	不整形	1.42×0.97	0.166	灰褐黄色土				

表1　遺構一覧表

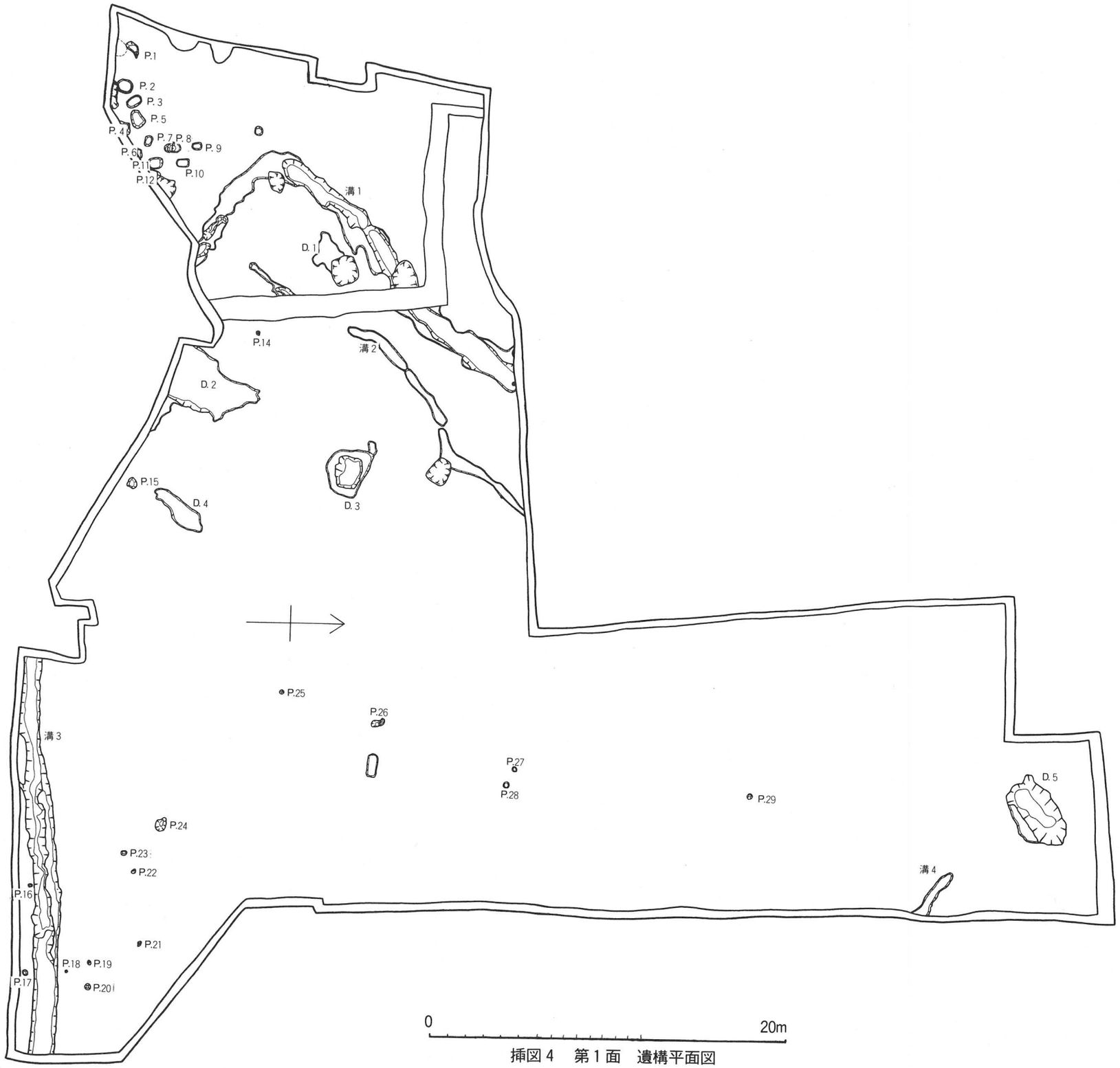
種別	形状	規模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
土壙49	不整形	1.10×0.71	0.139	灰褐色粘土質				
土壙50	不整形	2.61×1.39	0.381	灰褐黄色土				
土壙51	不整形	2.99×1.56	0.676	灰褐黄色土				
土壙52	不整形	1.58×1.02	0.087	灰黄褐色土				
土壙53	不整形	(3.17)×2.51	0.463	褐灰色土				
土壙54	不整形	1.00×4.20	0.127	黄灰褐色土				
土壙55	不整形	1.30×0.46	0.176	灰茶色土				
土壙56	不整形	1.28×0.94	0.140	灰黄褐色粘土質				
土壙57	不整形	1.66×0.34	0.062	灰黄褐色土				
土壙58	不整形	2.09×0.47	0.213	灰褐黄色土				
土壙59	不整形	1.05×0.62	0.250	灰褐黄色土				
土壙60	不整形	0.89×0.51	0.093	灰褐黄色土				
土壙60-1	円形	0.39×0.39	0.346	灰褐黄色土				
土壙61	不整形	1.03×0.71	0.078	灰褐黄色土				
土壙62	不整形	1.08×0.68	0.080	灰褐黄色土				
土壙63	不整形	1.13×0.44	0.065	灰褐黄色土（炭片を含む）				
土壙64	不整形	3.38×1.14	0.492	灰褐黄色土に褐灰黄色土がブロック状に混じる				
土壙65	不整形	1.08×0.49	0.159	灰褐黄色土				
土壙66	不整形	2.76×0.55	0.196	灰褐黄色土				
土壙67	不整形	(1.27)×0.47	0.151	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
土壙68	不整形	8.11×1.37	1.110	灰褐黄色土				
土壙69	不整形	1.44×0.71	0.106	淡灰黄褐色土				
土壙70	不整形	1.19×0.67	0.331	灰褐黄色土				
土壙71	不整形	2.91×1.31	0.542	灰褐黄色土				
土壙72	不整形	1.08×0.79	0.246	灰褐黄色土				
土壙73	不整形	2.14×0.88	0.382	灰褐黄色土				
土壙74	不整形	1.32×0.99	0.324	灰褐黄色土				
土壙75	不整形	3.54×1.61	0.562	灰褐黄色土(第1層)・暗灰褐黄色土(第2層)				
土壙76	不整形	0.93×0.64	0.351	灰褐黄色土				
土壙77	不整形	3.19×0.70	0.316	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
土壙78	不整形	(1.91)×1.78	0.651	灰褐黄色土				
土壙79	不整形	(1.14)×1.08	0.616	灰褐黄色土(第1層)・灰褐黄色土(第2層)				
土壙80	不整形	4.39×1.92	0.812	灰茶色土(第1層)・暗灰褐黄色土(第2層)				
土壙81	不整形	2.55×(1.95)	0.635	暗灰褐黄色土				
土壙82	不整形	2.26×1.07	0.604	灰褐黄色土				
土壙83	不整形	3.95×1.03	0.232	灰褐色砂質土				
土壙84	不整形	2.33×2.09	0.522	暗灰褐黄色土				
土壙85	不整形	1.48×1.06	0.240	灰褐黄色土				
土壙86	不整形	(1.49)×(1.03)	0.240	灰褐黄色土に暗灰褐黄色土が混じる				
土壙87	不整形	(1.83)×(0.63)	0.176	灰褐黄色土				
土壙88	不整形	4.98×3.84	0.846	灰褐黄色土に部分的に暗灰褐黄色土が混じる				
土壙89	不整形	5.85×3.38	0.585	暗灰褐黄色土				
土壙90	不整形	(3.33)×2.02	0.539	暗灰褐黄色土				
土壙91	不整形	1.16×(0.7)	0.187	灰茶色土				
土壙92	不整形	1.11×(0.49)	0.187	灰茶色土				
土壙93	不整形	1.04×0.94	0.220	淡灰黄褐色土				
土壙94	不整形	(1.51)×1.34	0.357	灰茶色土				
土壙95	不整形	(0.81)×(0.66)	0.235	灰褐黄色土				

種別	形状	規模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
土壙96	不整形	(1.01)×0.22	0.082	灰茶色土				
土壙97	不整形	1.04×0.38	0.164	灰褐黄色土				
土壙98	不整形	(2.73)×0.61	0.489	灰褐黄色土				
土壙99	不整形	4.65×(0.97)	0.296	灰褐黄色土				
土壙100	不整形	(8.43)×(3.87)	0.628	濁灰黄褐色混礫土				
土壙101	不整形	1.06×0.91	0.097	灰褐黄色土				
土壙102	不整形	1.53×0.52	0.250	暗灰褐黄色土				
土壙103	不整形	1.70×1.49	0.424	灰褐黄色土に褐灰色黄色土がブロック状に混じる				
土壙104	不整形	0.91×0.35	0.114	灰褐黄色土				
土壙105	不整形	0.77×0.71	0.146	灰褐黄色土				
土壙106	不整形	1.03×0.36	0.157	灰褐色粘土質				
ピット1	不整形	1.20×0.52	0.135	淡灰青黄色砂質土				
ピット2	不整形	1.07×0.89	0.175	淡灰青黄色砂質土		○		
ピット3	楕円形	0.84×0.54	0.210	淡灰青黄色砂質土				
ピット4	不整形	1.16×0.50	0.165	淡灰青黄色砂質土				
ピット5	不整形	1.25×0.92	0.235	淡灰青黄色砂質土		○	○	
ピット6	不整形	0.78×(0.36)	0.260	淡灰青黄色砂質土				
ピット7	不整形	0.83×0.52	0.230	淡灰青黄色砂質土				
ピット8	楕円形	0.91×0.58	0.165	淡灰青黄色砂質土				
ピット9	楕円形	0.53×0.39	0.095	淡灰青黄色砂質土				
ピット10	隅丸方形	0.87×0.58	0.280	淡灰青黄色砂質土				
ピット11	楕円形	0.84×0.64	0.290	淡灰青黄色砂質土				
ピット12	不整形	(8.43)×(3.87)		淡灰青黄色砂質土				
ピット13	円形	0.33×0.26	0.039	褐灰黄色土				
ピット14	不整形	0.31×0.27	0.215	暗灰黄色土				
ピット15	不整形	0.69×0.69	0.105	灰黄色土				
ピット16	楕円形	0.26×0.20	0.150	灰褐色土				
ピット17	円形	0.32×0.32	0.235	灰褐色土				
ピット18	円形	0.14×0.18	0.650	灰褐色土				
ピット19	円形	0.22×0.26	0.040	灰褐色土				
ピット20	円形	0.32×0.36	0.100	灰褐色土				
ピット21	不整形	0.40×0.29	0.080	灰褐色土		○	○	
ピット22	不整形	0.32×0.25	0.145	灰褐色土				
ピット23	楕円形	0.30×0.24	0.100	灰褐色土				
ピット24	不整形	0.97×0.74	0.365	灰褐色土				
ピット25	楕円形	0.26×0.20	0.155	灰黄色土				
ピット26	不整形	0.82×0.39	0.225	灰褐色粘土質				
ピット27	円形	0.26×0.26	0.015	灰黄色土		○		
ピット28	円形	0.33×0.35	0.250	灰褐色粘土質				
ピット29	円形	0.33×0.30	0.120	灰褐色粘土質		○		
ピット30	円形	0.31×0.28	0.067	灰褐黄色土				
ピット31	不整形	0.45×0.30	0.109	灰褐黄色土				
ピット32	不整形	0.40×0.25	0.112	褐灰色土				
ピット33	不整形	0.33×0.21	0.040	灰褐黄色土				
ピット34	不整形	0.34×0.22	0.117	灰褐黄色土				
ピット35	不整形	0.54×0.28	0.201	灰褐黄色土				
ピット36	円形	0.58×0.59	0.217	灰褐黄色土				
ピット37	楕円形	0.38×0.30	0.076	褐灰色土				

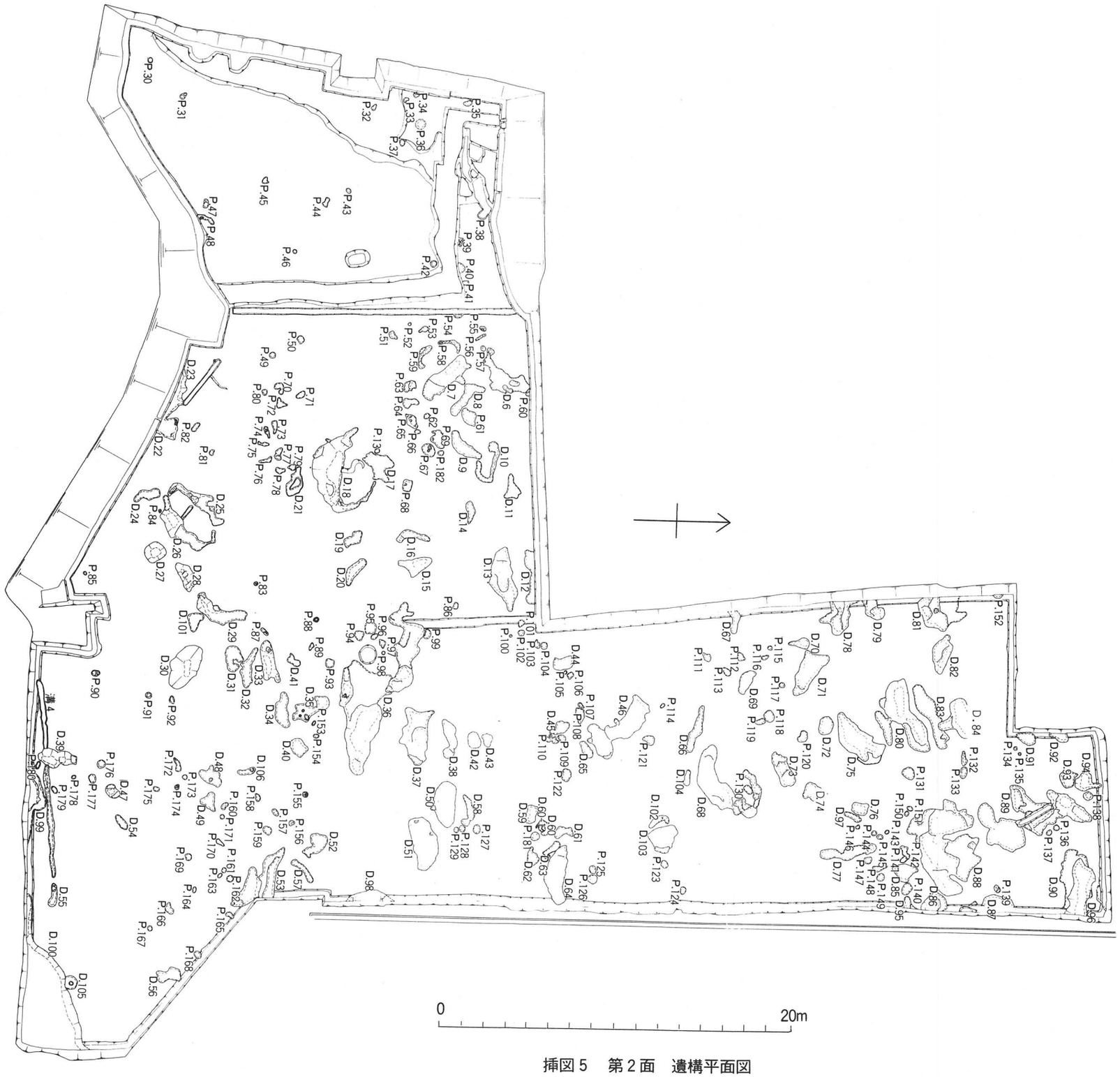
種別	形状	規模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
ピット38	不整形	(0.52)×0.49	0.058	濁灰褐黄色土				
ピット39	不整形	0.50×(0.24)	0:146	灰褐黄色土				
ピット40	不整形	0.58×(0.33)	0.079	灰褐黄色土				
ピット41	不整形	(0.35)×0.25	0.128	灰褐黄色土				
ピット42	不整形	0.40×0.37	0.123	灰褐黄色土				
ピット43	楕円形	0.33×0.24	0.159	灰褐黄色土				
ピット44	不整形	0.44×0.34	0.050	灰褐黄色土				
ピット45	不整形	0.42×0.39	0.050	灰褐黄色土				
ピット46	円形	0.24×0.25	0.041	灰褐黄色土				
ピット47	不整形	0.51×0.29	0.141	灰褐黄色土				
ピット48	不整形	(1.06)×0.33	0.115	灰褐黄色土				
ピット49	円形	0.36×0.34	0.106	暗灰褐色土				
ピット50	不整形	0.42×0.35	0.065	褐灰黄色土				
ピット51	不整形	0.55×0.42	0.148	褐灰黄色土				
ピット52	円形	0.19×0.19	0.115	暗灰褐色土				
ピット53	不整形	0.49×0.33	0.055	褐灰黄色土				
ピット54	不整形	0.58×(0.19)	0.041	褐灰黄色土				
ピット55	楕円形	0.40×0.26	0.165	褐灰黄色土				
ピット56	不整形	0.67×0.14	0.058	暗灰褐色土				
ピット57	楕円形	0.31×0.28	0.191	暗灰褐色土				
ピット58	不整形	1.52×0.27	0.127	暗灰褐色土				
ピット59	不整形	1.56×0.42	0.230	暗灰褐色土				
ピット60	不整形	0.26×(0.2)	0.059	暗灰褐色土				
ピット61	不整形	1.15×0.80	0.111	褐灰黄色土				
ピット62	不整形	1.27×0.50	0.306	暗灰褐色土				
ピット63	不整形	0.70×0.57	0.172	暗灰褐色土				
ピット64	不整形	0.91×0.50	0.132	暗灰褐色土				
ピット65	不整形	10.1×0.60	0.278	暗灰褐色土				
ピット66	楕円形	0.35×0.25	0.046	暗灰褐色土				
ピット67	楕円形	0.82×0.64	0.125	褐灰黄色土				
ピット68	四角形	0.66×0.52	0.194	暗灰褐色土				
ピット69	不整形	1.10×0.75	0.116	暗灰褐色土				
ピット70	不整形	0.65×0.54	0.111	暗灰褐色土				
ピット71	不整形	0.58×0.33	0.403	暗灰褐色土				
ピット72	不整形	0.62×0.61	0.127	暗灰褐色土				
ピット73	不整形	0.76×0.33	0.129	暗灰褐色土				
ピット74	不整形	0.72×0.25	0.165	暗灰褐色土				
ピット75	不整形	0.66×0.24	0.034	褐灰黄色土				
ピット76	不整形	0.76×0.34	0.071	暗灰褐色土				
ピット77	不整形	0.74×0.44	0.175	暗灰褐色土				
ピット78	不整形	0.56×0.32	0.111	暗灰褐色土				
ピット79	不整形	0.48×0.33	0.102	暗灰褐色土				
ピット80	不整形	0.35×0.31	0.247	暗灰褐色土				
ピット81	不整形	0.35×0.26	0.080	暗灰褐色土				
ピット82	不整形	0.60×0.27	0.062	暗灰褐色土				
ピット83	不整形	0.24×0.23	0.171	灰褐黄色土				
ピット84	楕円形	0.21×0.15	0.056	褐灰黄色土				
ピット85	楕円形	0.23×0.19	0.150	灰褐黄色土				

種別	形状	規模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
ピット86	楕円形	0.39×0.26	0.095	褐灰黄色土				
ピット87	不整形	0.54×0.20	0.185	灰褐黄色土				
ピット88	楕円形	0.33×0.30	0.172	灰褐黄色土				
ピット89	不整形	0.48×0.24	0.069	灰褐黄色土				
ピット90	楕円形	0.48×0.34	0.097	灰褐黄色土				
ピット91	円形	0.34×0.36	0.071	灰褐黄色土				
ピット92	不整形	0.45×0.30	0.044	灰褐黄色土				
ピット93	円形	0.50×0.51	0.102	灰褐黄色土				
ピット94	不整形	0.53×0.53	0.092	灰褐黄色土				
ピット95	隅丸方形	(0.65)×(0.65)	0.118	灰褐黄色土				
ピット96	楕円形	0.47×0.29	0.123	灰褐黄色土				
ピット97	不整形	0.56×0.36	0.111	灰褐黄色土				
ピット98	円形	0.20×0.21	0.091	灰褐黄色土				
ピット99	不整形	0.54×0.32	0.085	灰褐黄色土				
ピット100	円形	0.19×0.15	0.070	灰褐黄色土				
ピット101	不整形	(0.65)×(0.65)	0.073	灰褐黄色土				
ピット102	円形	0.38×0.33	0.139	灰褐黄色土				
ピット103	不整形	0.49×0.28	0.112	灰褐黄色土				
ピット104	円形	0.37×0.40	0.200	灰褐黄色土				
ピット105	楕円形	0.22×0.18	0.064	灰褐黄色土				
ピット106	不整形	0.36×0.33	0.117	灰褐黄色土				
ピット107	不整形	0.41×0.23	0.083	灰褐黄色土				
ピット108	不整形	0.92×0.49	0.121	灰褐黄色土				
ピット109	不整形	0.49×0.37	0.145	灰褐黄色土				
ピット110	不整形	0.74×0.44	0.124	灰褐黄色土				
ピット111	不整形	0.65×0.42	0.197	灰褐黄色土				
ピット112	不整形	0.56×0.42	0.104	灰褐黄色土				
ピット113	不整形	0.57×0.35	0.075	灰褐黄色土				
ピット114	楕円形	0.32×0.19	0.061	灰褐黄色土				
ピット115	円形	0.26×0.25	0.072	灰褐黄色土				
ピット116	不整形	0.45×0.23	0.086	灰褐黄色土				
ピット117	円形	0.34×0.29	0.134	灰褐黄色土				
ピット118	円形	0.69×0.62	0.072	灰褐黄色土				
ピット119	不整形	0.61×0.31	0.083	灰褐黄色土				
ピット120	不整形	0.69×0.52	0.128	灰褐黄色土				
ピット121	不整形	0.68×0.54	0.119	灰褐黄色土				
ピット122	不整形	0.72×0.64	0.081	灰褐黄色土				
ピット123	楕円形	0.44×0.40	0.150	灰褐黄色土				
ピット124	楕円形	0.32×0.24	0.091	灰褐黄色土				
ピット125	円形	0.36×0.46	0.270	灰褐黄色土				
ピット126	円形	0.52×0.52	0.281	灰褐黄色土				
ピット127	楕円形	0.51×0.37	0.189	灰褐黄色土				
ピット128	円形	0.33×0.36	0.144	灰褐黄色土				
ピット129	円形	0.27×0.32	0.114	灰褐黄色土				
ピット130	不整形	0.49×0.44	0.077	淡灰黄褐色土				
ピット131	不整形	0.75×0.62	0.133	灰褐黄色土				
ピット132	不整形	0.83×0.35	0.299	灰茶色土				
ピット133	不整形	0.66×0.27	0.150	黄灰色に灰褐黄色度がブロック状に混じる				

種 別	形 状	規 模(m)	深さ(m)	土色・土質	出土遺物			
					弥生	土師	須恵	石製品
ピット134	円形	0.20×0.21	0.130	灰褐色砂質土				
ピット135	円形	0.17×0.18	0.120	灰褐色砂質土				
ピット136	円形	0.34×0.34	0.067	灰褐黄色土				
ピット137	楕円形	0.30×0.33	0.090	灰褐黄色土				
ピット138	隅丸方形	0.55×0.50	0.224	灰褐黄色土				
ピット139	楕円形	0.42×0.33	0.183	灰褐黄色土				
ピット140	楕円形	0.67×0.58	0.086	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット141	楕円形	0.41×0.34	0.080	灰褐黄色土				
ピット142	不整形	0.83×0.37	0.085	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット143	楕円形	0.26×0.24	0.113	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット144	円形	0.31×0.28	0.131	灰褐黄色土				
ピット145	楕円形	0.38×0.27	0.172	灰褐黄色土				
ピット146	不整形	0.29×0.22	0.066	灰褐黄色土				
ピット147	不整形	0.44×0.38	0.151	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット148	不整形	0.85×0.32	0.067	灰褐黄色土				
ピット149	円形	0.45×0.43	0.071	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット150	楕円形	0.31×0.26	0.134	黄灰色に灰褐黄色土がブロック状に混じる				
ピット151	楕円形	0.36×0.26	0.280	灰褐黄色土				
ピット152	不整形	0.57×(0.12)	0.159	暗灰褐黄色土				
ピット153	楕円形	0.31×0.17	0.065	灰黄褐色粘質土				
ピット154	楕円形	0.33×0.23	0.121	灰褐黄色土				
ピット155	円形	0.31×0.30	0.120	黄灰褐色土				
ピット156	不整形	0.34×0.28	0.253	黄灰褐色土				
ピット157	楕円形	0.47×0.29	0.132	黄灰褐色土				
ピット158	不整形	0.47×0.28	0.058	黄灰褐色土				
ピット159	不整形	0.53×0.43	0.077	黄灰褐色土				
ピット160	不整形	0.46×0.23	0.110	黄灰褐色土				
ピット161	円形	0.27×0.30	0.048	灰黄褐色土				
ピット162	円形	0.40×0.37	0.103	灰黄褐色土				
ピット163	楕円形	0.31×0.20	0.049	灰黄褐色土				
ピット164	楕円形	0.35×0.21	0.070	灰黄色土				
ピット165	不整形	0.47×0.29	0.078	灰黄褐色土				
ピット166	不整形	0.55×0.51	0.080	灰褐黄色土				
ピット167	円形	0.28×0.30	0.087	灰褐黄色土				
ピット168	楕円形	0.46×0.36	0.102	灰褐黄色土				
ピット169	隅丸方形	0.39×0.34	0.080	灰褐黄色土				
ピット170	不整形	0.57×0.26	0.070	灰褐黄色土に褐灰黄色土がブロック状に混じる				
ピット171	円形	0.25×0.27	0.102	灰褐色粘質土				
ピット172	不整形	0.83×0.33	0.083	黄灰褐色土				
ピット173	円形	0.29×0.29	0.039	黄灰褐色土				
ピット174	楕円形	0.30×0.26	0.169	灰褐黄色土				
ピット175	不整形	0.35×0.27	0.073	黄灰褐色土				
ピット176	円形	0.47×0.46	0.120	灰褐黄色土				
ピット177	楕円形	0.51×0.41	0.234	灰褐黄色土				
ピット178	楕円形	0.26×0.21	0.074	灰褐黄色土				
ピット179	楕円形	0.47×0.28	0.072	灰黄褐色土				
ピット180	不整形	0.45×0.25	0.100	灰黄褐色土		○		
ピット181	円形	0.48×0.49	0.330	灰褐黄色土				
ピット182	円形	0.35×0.29	0.061	褐灰黄色土				



挿図4　第1面　遺構平面図



挿図５　第２面　遺構平面図

Ⅳ 遺　　物

今回の調査で出土した遺物には弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、陶器、磁器、製塩土器、埴輪、瓦、石器がある。その大半は包含層から出土している。遺構からの出土状況は遺構の項で述べたとうりである。遺構出土の土器はすべて細片で図化できるものはなかった。

出土した遺物は弥生時代から近世までの時期が含まれる。包含層は6層に分層できるが、遺物の大半は第4層～第6層で出土した。

ここでは第6層から第4層、および側溝から出土した土器を個々に観察したあと、石器について記述する。

1. 土　器

第6層出土土器（挿図6・図版12）

須恵器（1～4）

(1)口縁部と天井部の境が不明瞭な蓋で口径12.8㎝をはかる。内外面とも回転なで調整が施されている。焼成は堅緻。色調は青灰色。

(2)口縁部と天井部の境が不明瞭な蓋で口径9.2㎝、器高3.1㎝をはかる。天井部外面はへら削り調整とへら切り未調整、内面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整。へら削り時のロクロの回転方向は左まわり。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

(3)口縁部がわずかに外傾してたちあがる杯身で、口径13.5㎝、器高5.0㎝をはかる。底部外面は回転へら削り、他は回転なで調整。焼成はやや堅緻。色調は灰白色。

(4)口縁部がわずかに外傾してたちあがる杯身で、底部外面に高台がめぐる。口径9.6㎝、器高4.6㎝、高台径5.6㎝、高台高0.3㎝をはかる。底部外面はへら削りを施したあと、高台は貼付け位置をへらでしるしてから貼付けている。高台は押しつぶされたようになっている。内底面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整、他は内外面とも回転なで調整。焼成はやや甘い。色調は白灰色。

土師器（5～7）

(5)口縁部が端部近くで大きく外反してひらく杯で口径13.5㎝、器高4.6㎝をはかる。内外面とも磨滅が著しく調整不明。胎土は精良。色調は明茶黄色。

(6)口縁部が「く」の字に外反してひらく甕である。口縁端部は欠失している。胎土は粗く、作りも雑で粘土紐の継ぎ目が明瞭に残る。色調は明茶褐色。

(7)口縁部はやや受口状にたちあがったのち外反する甕である。口縁端部は欠失している。口

縁部外面は横なで調整。他は磨滅のため調整不明。胎土はやや精良。色調は明赤褐色。

第5層出土土器（挿図6・図版12）

弥生土器　(8)

(8)底部片で、底径3.6㎝をはかる。調整は磨滅のため不明。胎土は粗い。色調は明茶赤色。

須恵器（9～14）

(9)口縁部と天井部の境が不明瞭な蓋で、口径12.3㎝、器高3.4㎝をはかる。天井部外面はへら切り未調整。内面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整。他は回転なで調整。焼成は堅緻。色調は暗灰青色。

(10)口縁部と天井部の境が不明瞭な蓋で、口径10.4㎝、器高3.8㎝をはかる。天井部外面はへら切り未調整。内面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整。他は回転なで調整。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

(11)比較的丸みをもつ天井部に宝珠つまみが付くと思われる蓋で、口径12.0㎝をはかる。口縁端部は折り込むことで作りだしている。天井部はへら切りの後、回転なで調整。他は回転なで調整。焼成は堅緻。色調は暗灰青色。

(12)やや偏平な天井部につまみが付くと思われる蓋で、口径14.1㎝をはかる。天井部はへら切りの後、おそらく回転なで調整。内面中央部は回転なで調整の上から一定方向のなで調整を施しているらしい。他は回転なで調整。焼成は甘い。色調は灰白色。

(13)平底をもつ杯身で、底径10.2㎝をはかる。底部外面はおそらくへら切り未調整と思われるが、磨滅のため不明。他も磨滅のため調整不明。焼成は甘い。色調は灰茶色。

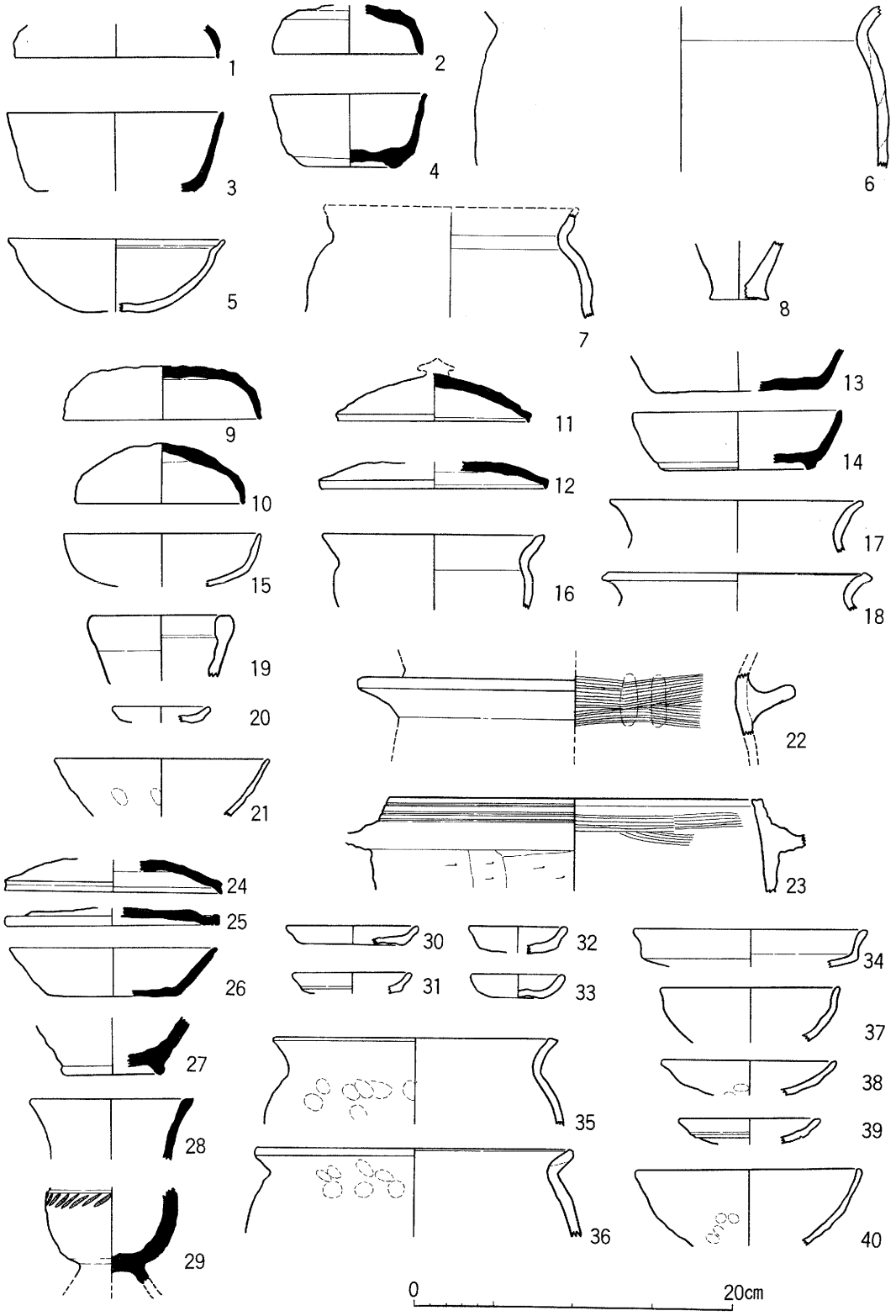
(14)平底に高台がめぐる杯身で、口径12.9㎝、器高3.7㎝、高台径9.6㎝、高台高0.5㎝をはかる。底部外面はへら切り未調整のあと、高台を貼付け、その後、回転なで調整を施している。他は回転なで調整。焼成は堅緻。色調は灰青色。

土師器（15～18、20、22、23）

(15)丸みを持つ底部の杯で、口径12.3㎝をはかる。剥離のため、器壁の厚みは不確実で、調整も不明である。胎土は精良。色調は明茶赤色。

(16)口縁部が「く」の字に外反してひらく甕で、口径13.9㎝をはかる。口縁端部上面は平坦である。口縁部外面は横なで調整。他は剥離と磨滅のため調整不明。胎土は粗い。色調は明黄茶色。

(17)外反する口縁部をもつ甕で、口径15.6㎝をはかる。外面は横なで調整、内面は磨滅のため調整不明。胎土は粗い。色調は明赤茶色。



挿図６　包含層、側溝出土土器

(18)外湾する口縁部をもつ甕で、口径15.9㎝をはかる。口縁端部は平坦面をなし上面は沈線がめぐる。外面は横なで調整。他は剥離と磨滅のため調整不明。胎土はやや精良。色調は暗褐色。

(20)口径6.0㎝をはかる小皿である。底部外面は未調整。他は横なで調整が施されている。胎土は精良。色調は淡黄茶色。

(22)上向きの鍔がめぐる羽釜で、鍔部径27.4㎝、鍔幅3.0㎝をはかる。鍔貼付け時の指頭圧痕が、内面の横方向の刷毛目下に残る。鍔の調整は横なで調整。胎土は粗く、生駒西麓産。鍔下面には煤が付着している。色調は暗茶褐色。

(23)やや内傾する口縁部にほぼ水平の鍔がめぐる有段の羽釜である。口縁端部内面はわずかに肥厚する。口縁部外面は3本の段が、上面には1本の沈線がめぐる。口径23.2㎝をはかる。口縁部外面と内面上半は横なで調整。内面下半は横方向の刷毛目調整。体部外面は左から右へ横方向のへら削り調整、内面はなで調整が施されている。鍔部下には煤が付着している。胎土は粗い。色調は灰茶黄色。

製塩土器 (19)

(19)口縁部が内側に肥厚する製塩土器で、口径8.7㎝をはかる。調整は不明。胎土は粗い。色調は淡黄色。

瓦器 (21)

(21)口径13.3㎝をはかる椀である。磨滅のため暗文の状況も調整も不明。外面には指頭圧痕が認められる。胎土は精良。色調は黒灰黄色。

第4層出土土器 (挿図6)

須恵器 (24～29)

(24)やや偏平な天井部につまみが付くと思われる蓋で、口径13.6㎝をはかる。天井部外面は回転なで調整が施されているが、おそらくつまみ貼付け時に施されたもので、本来は回転へら削り調整が施されていたと思われる。天井部内面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整。他は回転なで調整が施されている。焼成は甘い。色調は暗灰色。

(25)偏平な天井部につまみが付くと思われる蓋で、口径13.2㎝をはかる。口縁端部は肥厚し、内面に沈線が1本めぐる。天井部外面はへら切りの上からなで調整を施しているが、不十分で器面はあれている。他は回転なで調整が施されている。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

(26)平底に大きく外傾する口縁部をもつ杯身で、口径12.9㎝、器高3.3㎝、底径7.9㎝をはかる。底部外面はへら切り未調整。内面は回転なで調整の上から一定方向のなで調整。他は回転

なで調整が施されている。焼成は甘い。色調は灰色。

(27)平底に高台のめぐる杯身で、高台径6.0㎝、高台高0.7㎝をはかる。器壁は厚い。底部外面はへら切り調整なのか、へら削り調整なのか不明。他は回転なで調整が施されている。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

(28)やや外反気味にたちあがる口縁部をもつ壺で、口径10.2㎝をはかる。調整は回転なで調整。自然釉が付着している。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

(29)台付鼎である。体部最大径8.3㎝、台基部径4.0㎝をはかる。台部は別作りで、貼付けている。体部外面には沈線が1本めぐり、その下に1単位19本の櫛描き斜線文が右方向に施されている。底部外面はへら削り調整、他は回転なで調整が施されている。焼成は堅緻。色調は暗青灰色。

土師器 (30～34)

(30)口径8.1㎝、器高1.1㎝をはかる小皿である。底部外面は未調整で指頭圧痕が残る。他はなで調整が施されている。胎土はやや精良。色調は明赤褐色。

(31)口径7.2㎝をはかる小皿である。口縁部と底部の境に段をもつ。底部外面は未調整で指頭圧痕が残る。他はなで調整が施されている。胎土は精良。色調は淡茶色。

(32)口径6.1㎝、器高1.7㎝をはかる小皿である。底部外面には指頭圧痕が残るが、なで調整が施されている。他は横なで調整が施されている。胎土はやや精良。色調は暗灰色。

(33)口径5.7㎝、器高1.4㎝をはかる小皿である。底部外面には指頭圧痕が残る。調整は磨滅のため不明。胎土は粗い。色調は明茶色。

(34)外反する口縁部をもつ皿で、口径14.2㎝をはかる。調整は磨滅のため不明。胎土はやや精良。色調は淡黄茶色。

(35)外反する口縁部にそれほど張り出さない体部をもつ甕で、口径17.7㎝をはかる。口縁端部はやや平坦面をなし、内側にやや肥厚する。口縁部外面は横なで調整。他は磨滅のため調整不明。胎土は粗い。色調は明茶赤色。

(36)「く」の字に外反する口縁部にそれほど張り出さない体部をもつ甕で、口径19.6㎝をはかる。口縁端部は磨滅しているため丸みをもって図示されているが、本来の形状は角張っていたと思われる。口縁部は内外面とも横なで調整が施されている。体部外面はなで調整。頚部から体部にかけては外面に指頭圧痕が残る。内面は磨滅のため調整不明。胎土はやや粗。色調は黄灰茶色。

灰釉陶器 (37)

(37)口径 11.0 cmをはかる椀である。口縁部はつまむように外反している。調整は横なで調整。胎土は精良。色調は白灰色。

瓦器 (38)

(38)口径 10.7 cmをはかる皿である。暗文の状況は磨滅のため不明である。口縁部外面は横なで調整。底部外面には指頭圧痕が残る。炭素の吸着はわるい。胎土は精良。色調は淡黄灰色。

側溝出土土器 (挿図6)

瓦器 (39、40)

(39)口径 8.7 cmをはかる小皿である。口縁部と底部の境に段をもち、その下、底部に沈線が1本めぐる。暗文の状況は磨滅のため不明。口縁部外面は横なで調整が施されている。他は剥離と磨滅のため調整不明。胎土は精良。色調は黒色。

(40)口径 13.7 cmをはかる椀である。暗文の状況は磨滅のため不明である。口縁部外面上半は横なで調整。外面には指頭圧痕が明瞭に認められる。他は磨滅のため調整不明。炭素の吸着はそれほどよくない。胎土は精良。色調は黒灰黄色。

2. 石　器

石器遺物の総数は85点である。うち3点を除いて、他はすべてサヌカイト製の打製の石器遺物である。これらはすべて原位置出土ではなく、大半が、包含層からの出土である。また、たとえ遺構から出土したものでも、遺構の所属時期に年代をあてることができない。それらの推定年代は石鏃の形態と若干の土器資料から、縄文晩期から弥生中期と推測する他はない。

今回、石器遺物の分析にあたって、山中一郎が、長原遺跡（第31工区）で試みた、データー化のための石器遺物観察を適用してみた(註1)。層位不確実な資料なので情報価値は低いが、喜志西遺跡の性格上、これからも確実に資料の増加が期待できる遺跡なので、将来、質的にも量的にもまとまった段階で、改めて検討する際にデーターとして役立つであろう。

さて、85点の石器遺物には、サヌカイト製の打製品として石器15点、石核6点、剥片60点、礫1点の他、和泉砂岩製のハンマー1点、アプライト製のハンマー1点が認められる。

ここでは、まず、サヌカイト製の打製遺物として、個々の石器、石核について観察した後、剥片は観察表 2～4 にしてまとめる。なお、この表には剥片素材の石器も含めて、剥片としての属性観察が可能なものすべての資料が含まれる。サヌカイト以外の製品については、その他

の遺物して記述する(註2)。

サヌカイト製石器遺物

石鏃 1～5（挿図7・図版9）

(1)基部の形態は極凹形である。基部のつくりだしは薄形表面細部調整の後、平形裏面細部調整を施している。調整は両面調整で、中央断面は平凸形である。整形は非極厚細部調整でされている。原面を残していない。長さ13.7㎜。幅14.7㎜。厚さ2.7㎜。第5層出土。

(2)基部の形態は凹形である。基部のつくりだしは薄形両面細部調整を施している。調整は両面調整で、中央断面は両凸形である。整形は非極厚細部調整でされている。尖端部と脚部がわずかに折損。原面を残していない。残存長17.9㎜。幅14.8㎜。厚さ3.5㎜。第4層出土。

(3)基部の形態は極凹形である。基部のつくりだしは薄形両面細部調整を施している。調整は両面調整で、中央断面は両凸形である。整形は非極厚細部調整である。尖端部と片脚部先端が折損。原面を残していない。残存長20.2㎜。幅14.6㎜。厚さ3.4㎜。第5層出土。

(4)基部の形態は極凹形である。基部のつくりだしは薄形両面細部調整を施している。調整は両面調整で、中央断面は両凸形である。整形は非極厚細部調整である。片脚部が折損。残存長28.3㎜。残存幅17.6㎜。厚さ3.4㎜。溝1出土。

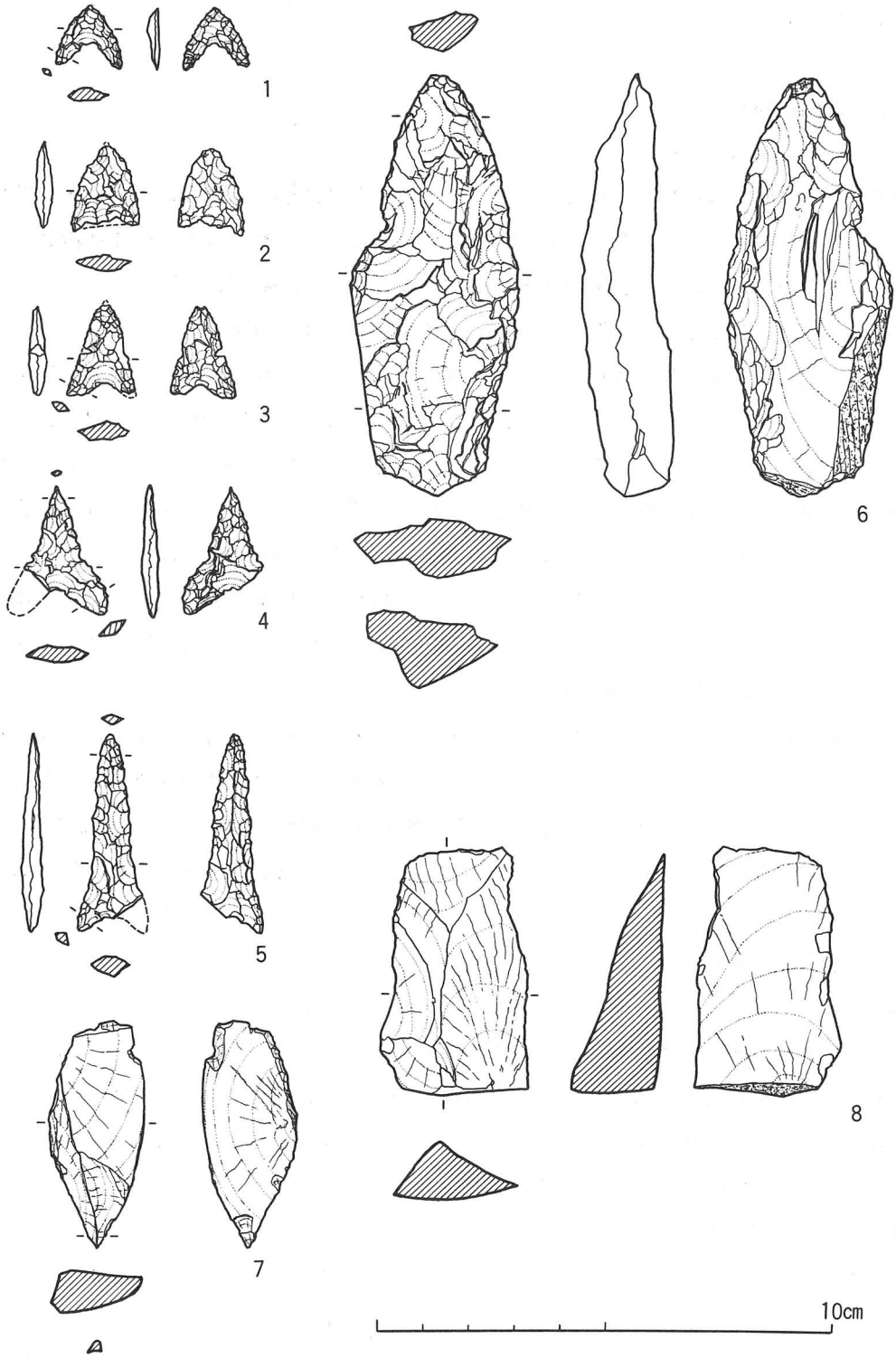
(5)胴部が長い器体に短い両脚部をつけた全体形を呈する弥生時代特有の石鏃形態。基部の形態は極凹形である。基部のつくりだしは平形表面細部調整の後、薄形裏面細部調整を施している。調整は両面調整で、中央断面は両凸形である。整形は非極厚細部調整であるが、表面左縁、右縁、裏面左縁、右縁の順に整形している。片脚部が折損。残存長43.1㎜。残存幅14.3㎜。厚さ4.9㎜。第4層出土。

石槍 6（挿図7・図版10）

(6)横形剥片を素材にしてその素材の左縁部中央に尖端刃部をつくりだして石槍としたものである。尖端刃部の先から力が加わって、裏面側に1枚の小さな剥離痕を残してこの刃部のごく一部が欠けている。尖端刃部は両縁を薄形侵形凸形両面細部調整で整形して作りだされている。素材剥片に残ったと思われる原面打面の半分が、石槍の基部側半分の片縁面に残っている。残存長92.8㎜。幅37.2㎜。厚さ18.9㎜。第5層出土。

石錐 7（挿図7・図版9）

(7)多面調整打面をもち打瘤のやや発達した横形剥片を素材として、その素材右縁部中央に尖端刃部をつくりだしている。尖端刃部をつくりだすために素材の原形を変えるほどの整形はなされていないが、尖端部を鋭くするために厚形浅形凹形表面細部調整が尖端から数㎜ほど施さ



挿図７　石鏃、石槍、石　　クラクトン型ノッチ

0

れている。尖端部の断面形は三角形。裏面に尖端刃部から入った剥離痕が認められ使用状況をうかがわせる。長さ49.9㎜。幅21.0㎜。厚さ8.8㎜。側溝出土。

クラクトン型ノッチ 8（挿図7･図版10）

(8)原面打面の剥片の左縁中央に裏面から打撃してクラクトン型ノッチをつくりだしている。長さ54.8㎜。幅32.0㎜。厚さ19.0㎜。第5層出土。

複刃削器 9～11（挿図8･図版12）

(9)打瘤の発達していない横形剥片を素材とし、素材の右縁及び、先端縁に刃部をつくりだしている。基端部と右縁に作られた刃部は交わっているので、斜形尖頭削器と呼べなくもないが、複刃削器としておく。基端縁は薄形深形直線形表面細部調整の上に平形深形裏面細部調整が3分の2ほどにわたって複合する。そのとき素材剥離のときの打面が取り除かれている。右縁も基端縁と同じ性格の細部調整をみる。先端縁は薄形深形凹形両面細部調整が施される。素材の先端部の一部と左縁には原面が残っている。長さ74.3㎜。幅45.0㎜。厚さ7.9㎜。第7層出土。

(10)原面打面をもち打瘤の発達していない横形剥片を素材として、その素材の左縁基端側の半分と先端縁から右縁の全体に2つの刃部をつくりだしている。左縁先端側の半分は刃部を取り去るように欠けている。左縁は比較的浅い薄形深形凸形表面細部調整が施されている。先端縁から右縁にかけては薄形深形S字形両面細部調整が施されている。長さ63.7㎜。幅36.0㎜。厚さ7.8㎜。第5層出土。

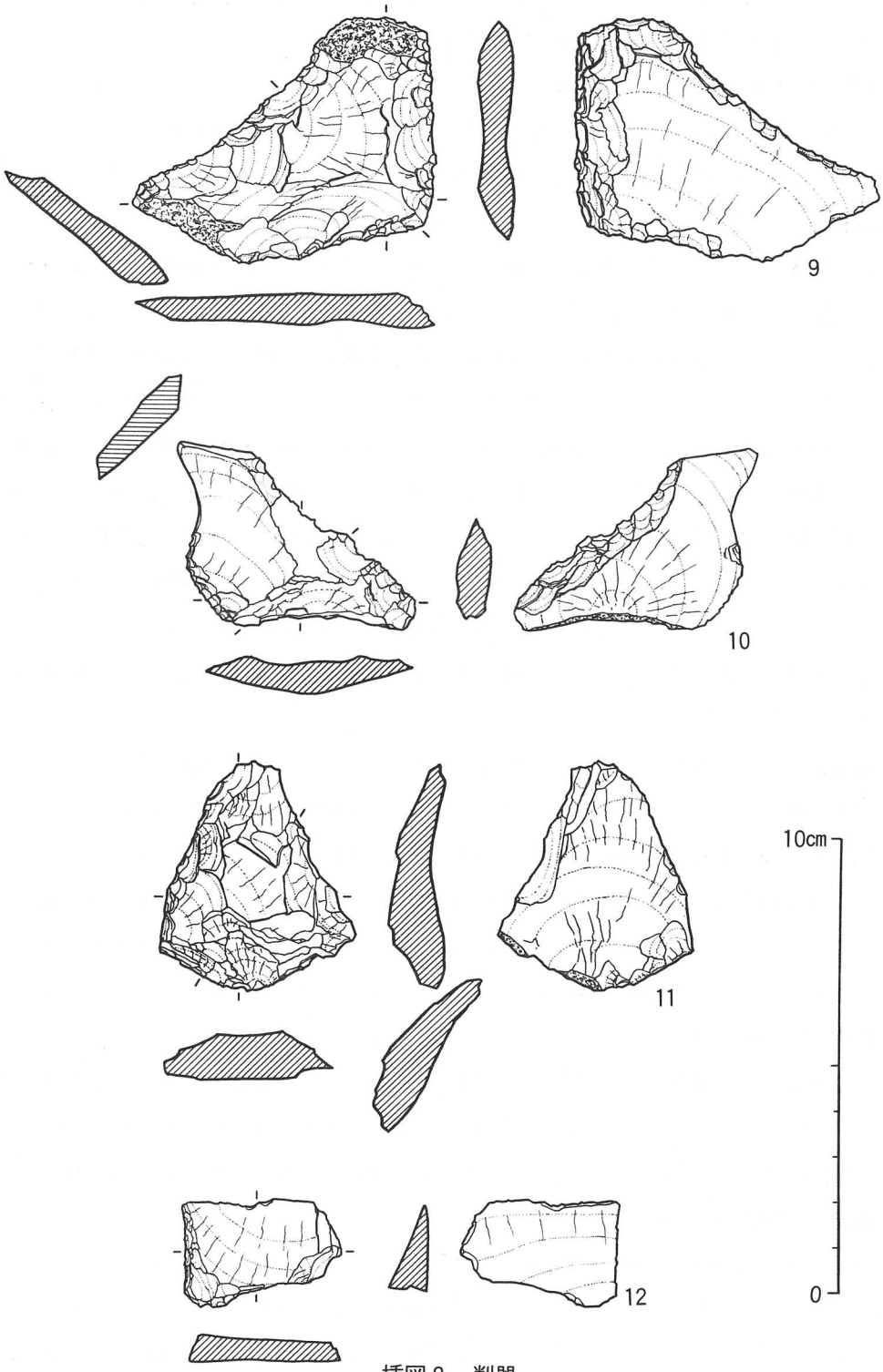
(11)原面打面をもつ打瘤のやや発達した剥片を素材として、左縁基端側3分の1にわたって、左縁先端側の残りの部分に刃部をつくりだしている。基端側の刃部は薄形深形直線形表面細部調整の後、平形浅形直線形表面細部調整と平形深形直線形裏面細部調整が複合している。先端部側の刃部は先の刃部とは連続せず、角度をなして先にのびており、薄形深形凸形表面細部調整でつくりだしている。刃部をつくりだすほどではないが、右縁には薄形侵形S字形表面細部調整が認められる。長さ49.9㎜。幅42.0㎜。厚さ10.1㎜。第5層出土

直刃削器 12（挿図8･図版12）

(12)基端部を欠いた横形剥片の先端部破片を素材にして、左縁に厚形深形直線形表面細部調整で刃部をつくりだしている。素材の先端部の鋭縁はそのまま残され、その左半分に平形深形凹形裏面細部調整が浅く施されている。長さ34.9㎜。幅24.1㎜。厚さ7.3㎜。第4層出土。

横形削器 13（挿図9･図版9）

(13)線状打面をもつ薄い剥片の両側縁に一対の平形深形両面細部調整のあるピエス･エスキエを素材として、先端部に刃部をつくりだした鋸歯縁凸刃の横形削器といえる。刃部は薄形深形凸形裏面細部調整でつくりだしている。長さ35.6㎜。幅40.1㎜。厚さ6.3㎜。第4層出土。



挿図８　削器

ピエス・エスキエ 14（挿図9・図版9）

(14)剥片の先端部に平形深形両面細部調整、基端部に平形深形裏面細部調整が認められる。長さ38.1㎜。幅34.9㎜。厚さ10.3㎜。第5層出土。

彫器 15（挿図9・図版10）

(15)剥離面打面で並列する二重バルブを持ち、打瘤のやや発達する横形剥片を素材として、右縁部に先端部の先行剥離面から彫刀面打撃を施した無調整面彫器。彫刀面打撃の他、右縁部基端側半分には薄形侵形凸形裏面細部調整が、打面中央上には平形侵形孤立表面細部調整が認められる。長さ134.8㎜。幅53.1㎜。厚さ21.8㎜。第5層出土。

石核 16－21（挿図9、10・図版10、11）

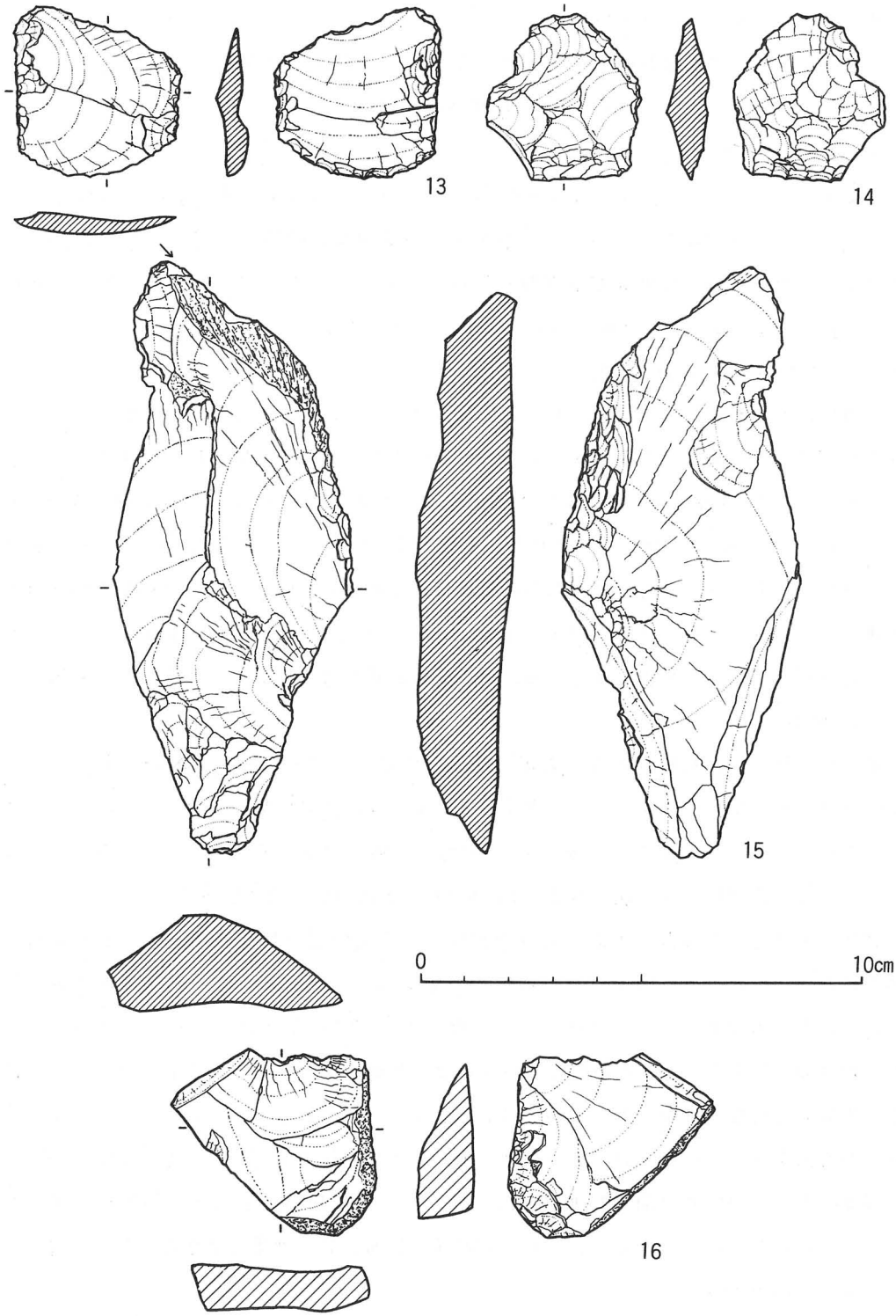
(16)石の目に沿った直接打撃で得られた剥片を素材にしている。打面から90度転回させて、素材剥片の左縁部の基端側を表面側からたたいて剥片を取る作業を2回、打点をずらせて行なっている。本来、長さ40㎜程度の薄い剥片を剥出することをねらったようであるが、実際には1度目で長さ約28㎜、幅約37㎜の横形剥片が、2度目にいたっては長さ約19㎜、幅約26㎜の横形剥片が取れているだけである。反対側の面にはほぼ180度の位置関係で、平形深形細部調整程度の剥離が認められる。その他、素材剥片を剥ぎとったときと同じ原面を打面にして、この反対側への剥離があるが、素材剥片ができる以前の先行剥離と考えていいだろう。50.0×40.8×14.8(㎜)。第4層出土。

(17)剥片を素材にした石核である。両極技法の石核で、素材剥片の主剥離面であったらしい面に1枚の薄い大きな剥片を取ることに成功している。剥片剥離作業は1回で、この時の打面はハジケて失われているが、長さ約35㎜、幅約30㎜の打瘤の発達していない剥片を得ることができたようである。片側縁には原面が残る。40.5×39.8×13.2(㎜)。第5層出土。

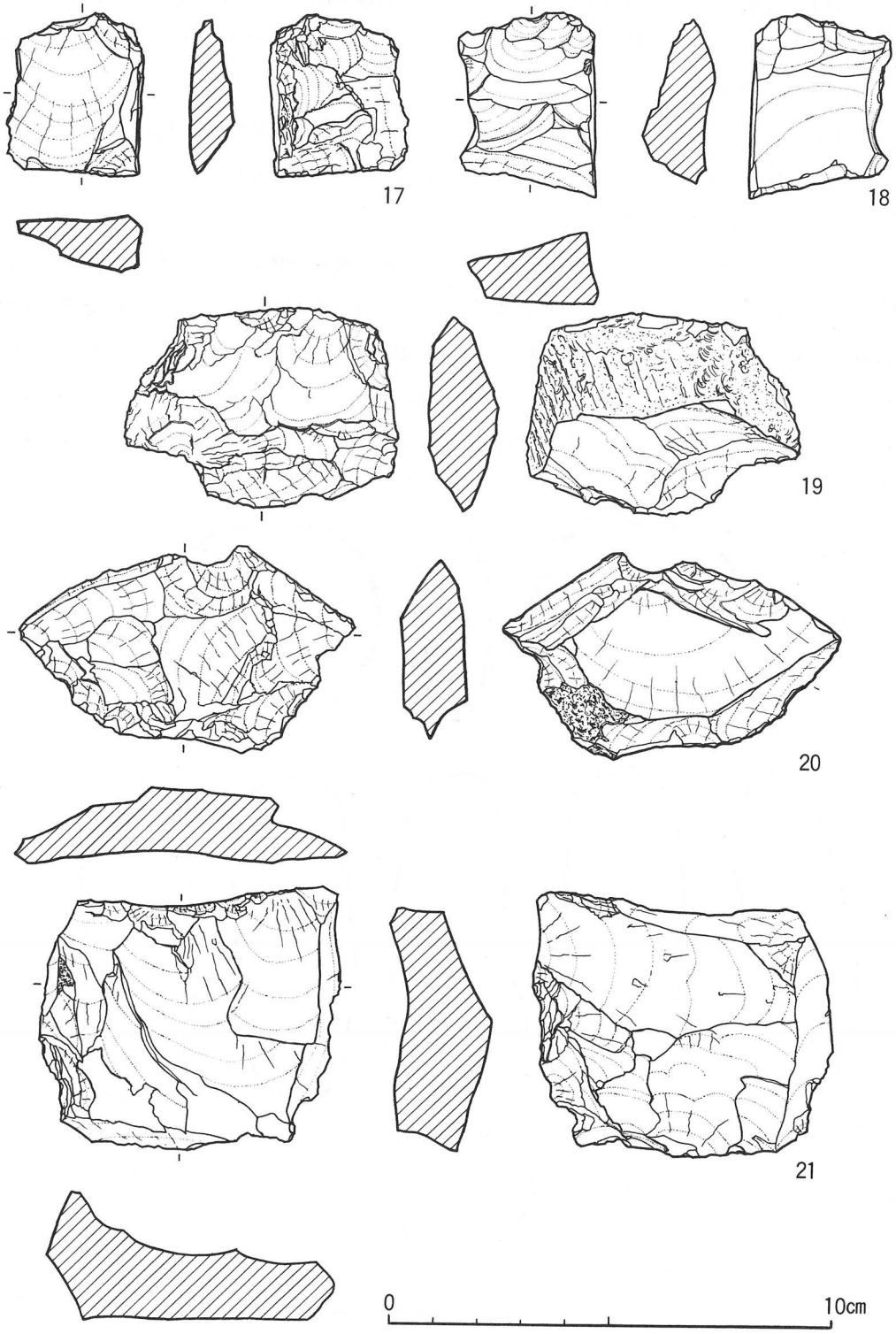
(18)剥片を素材にした石核である。大きな剥片のごく先端部を割りとり、その主剥離面の先端が外側に曲面を呈しているので、その面に小剥離を施して打面をつくり剥片剥離作業を数回行っている。その後両側で剥離作業面からの打撃による折りがなされ、原形ができあがっている。その折れ面を打面とする1回の彫刀面打撃が先の基端側の折り面上に認められるが、全体の形状から事故的な打撃と理解して、彫器とは認定しない。46.1×41.0×16.3(㎜)。第5層出土。

(19)原面打面をもつ剥片を素材にした石核である。素材剥片の主剥離面を作業面にしている。素材を剥離したときの同じ原面を打面にして、左右に打点を移動して適当な加撃点を探したようである。それ以前には対向縁で素材の先行剥離面を打面にして剥離作業がなされた。74.8×46.2×16.2(㎜)。第4層出土。

(20)原面打面をもつ剥片を素材にした石核である。素材の主剥離面を剥片剥離作業面にして、



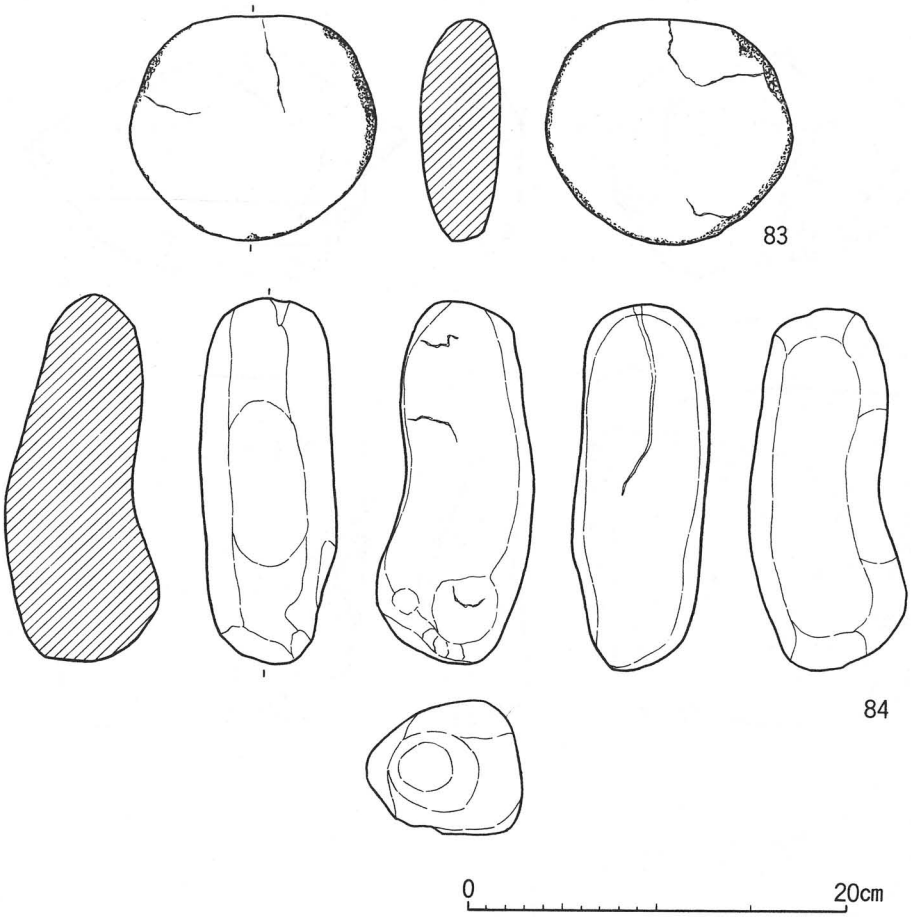
挿図９　削器、ピエス・エスキエ、彫器、石核



挿図10　石核

周縁から数回、打撃を行っているが、ステップを踏む剥離面の生じやすい方向にあったらしく、大きな剥片は取れていない。同じく先行剥離面側にも大きな剥片が取れた痕跡がない。61.2×45.8×16.1(㎜)。第4層出土。

(21)原面を小部分に持ち、他はすべて剥離面および節理割れの割れ面で構成される。長縁部に側面をなす剥離面を打面にし、そして節理割れの面に作業面を求めて、はさみ打ちで剥片剥離を行っている。2度の打撃で剥離がなされたようで、はじめは先端ヒンジの剥片が取り切れないでヒビを残したままであったのが、2度目の打撃で剥離軸長全体に及ぶ剥離を完成させている。そのとき2枚の剥片が同時に生じた可能性が高い。この後、90度転回をして、短縁部に側面をなす剥離面を打面に、作業面を先の剥離とは反対の面に求めて数回打撃を加えている。そのうち最初に行った剥片剥離作業で長さ60㎜に近い打瘤の発達しない石刃状剥片を取ることに成功しているが、他は先端がステップを踏む小さな剥離で終わっている。80.5×70.5×28.8(㎜)。第5層出土。



挿図11　ハンマー

剥片（表２～４）

剥片は62点出土している。そのうち細部調整剥片は35点ある。素材の形態をみると横形剥片18点、剥片９点、石刃状剥片５点、同定不能３点である。それら62点の観察結果は表3･4にまとめるが、この量的な検討は資料の出土状況から大きな意味をもちにくい。いくらかの石の割れの特徴が定性的に指摘できる。すなわち、打面の形態はハジケのために打面が欠失したもの、ならびに垂直割れをうけた剥片が目につく。またその部分の大きさを問わず原面を保有する個体は観察対象とした76点のうち40点に及んでいる。資料の一括性に問題を残しているとはいえ、この数値はなにかを意味するかもしれない。この他、特殊な剥片としてポイント･フレイクが１点と両極技法で取れた剥片１点が含まれる。

その他の遺物

ハンマー 83.84（挿図11･図版12）

(83)アプライト製(註３)の円盤状のハンマーである。磨痕を一部と敲打痕が残るが、そこを除いて全周縁に部分的に敲打痕の少ない箇所がある。65.3×59.3×26.0(mm)。第６層出土。

(84)和泉砂岩製の細長ハンマーである。角棒状を呈し、全体に磨痕が認められるが、平坦面を持つ一端に打撃痕と磨痕が特に集中して認められる。97.0×40.5×35.5(mm)。第４層出土。

（粟田　薫）

（註１）山中一郎（1978）、「長原遺跡出土の石器について」、長原遺跡調査会編『大阪市平野区長原遺跡発掘調査報告書』（大阪市交通局地下鉄延長工事、第31･32工区の発掘調査、大阪pp.34－79（再版1982）

（註２）石器の観察にあたって用語は次の文献によっている。

山中一郎（1978）、「森の宮遺跡出土の石器について」『森の宮遺跡第3･4次発掘調査報告』、pp.124～147

（註３）石材の観定は大阪府立富田林高等学校の森山義博氏にお願いした。

表２　細部調整剝片観察表

番号	位　置	細　部　調　整　の　類
23	19－21	平・深＋侵・連・直・裏
	7－10Ⓐ	平・侵・連・凹・裏
	7－10	薄・深・孤・ノッチ・表、Ⓐと同時
24	1－ 4	薄・侵・連・直・表
	14－17	薄・侵・連・凸・裏　（階段）
	10－	薄・侵・孤・凹・裏
	11－13	－・－・－・－・－
	20－	平・侵・孤・－・裏　（打面上）
26	7－ 8	平・浅・不・直・表
28	9－11	薄・深・連・ノッチ・裏
30	14－17	平・浅・連・凹・裏
32	7－ 9	平・侵・連・凸・裏
33	11－15	薄・侵・連・直・表　（階段）
35	2－ 4	薄・深・不・S・裏
	4－ 9	厚・深・不・凹・表裏
	9－12	薄・深・不・凸・表裏
36	4－ 7	厚・深・連・直・表
	9－	薄・深・連・凹・裏
39	9P－13	薄・深・連・直・裏
	14－	平・深・連・凹・両
40	1－ 4	平・深・連・直・両　（階段）
	4－11	薄・深・連・凸・裏　（鋸歯）
	11－17	平・深・連・直・両　（階段）
43	1－ 7	平・侵・連・直・裏　（階段）
44	7－10	薄・深・連・凹・両
	11－17	薄・深・連・直・両
	17－21	薄・深・連・直・表裏
47	11－14	薄・深・連・凸・裏
	15－17	薄・浅・連・凹・裏
	18－21	平・浅・連・凸・裏（打面上）（先行剥離かもしれない）
49	4P－11	薄・侵・連・凸・両　（一部階段）
	19－4P	薄・侵・連・凸・両　（一部階段）
	17－18	平・侵・連・直・表
50	1－ 4	薄・深・連・凸・表　（折れの上）
	10－17	薄・深・連・S・両
51	1－	薄・侵・孤・－・表
	3－ 4	薄・浅・連・凸・表裏
	16－17	薄・浅・不・直・表
53	4－ 5	薄・深・孤・凹・表
54	20－	薄・深・孤・凹・表
55	1－ 7	薄・深＋侵・連・S・裏　（一部表）
56	9－12	薄・深・連・S・表
	13－	薄・深・孤・凹・裏
	14－17	薄・深・連・S・表裏片線　（鋸歯）
57	14－	薄・深・孤・凹・裏

番号	位　置	細　部　調　整　の　類
58	4－ 7	厚・深・連・直・表
59	4－ 6	厚・深・不・S・裏（わずかに鋸歯）
	7－11	平・深・連・直・両（部分的に階段）
	17－	平・深・連・凹・両　（階段）
60	1－ 4	平・深・連・直・表　（階段）
	1－ 2	平・浅・連・直・裏（1－4のあと）
	2－ 4	平・深・連・直・裏（階段）（1－4のあと）
	4－ 7	薄・深・連・凸・表　（一部階段）
	14－17	薄・侵・連・S・表　（階段）
63	4－ 7	極厚・深・連・S・表　（階段）
	10－15	薄・深・連・ノッチ・表
64	7－9A	薄・浅・連・直・裏
	9－11	薄・浅・連・直・表裏
	14－16	厚・深・連・凹・表
65	2－	薄・深・孤・凹・裏
	2－ 4	薄・浅・連・凸・裏
	4－ 7	薄・深＋浅・連・凸・表
67	1－ 7	極厚・隆・孤・凹・表
	2－ 4	極厚・浅・連・凹・表（1－7の上）
	20－21	極厚・深・連・凹・表（打面を作っている）
70	2－	極厚・深・孤・凹・表
	8－10	極厚・隆・深・連・凹・表
71	4－ 5	厚・深・孤・凹・裏
	13－14	厚・浅・連・直・表
	14P－	平・深・孤・凸・裏
	4P－15	薄・深・連・凹・表
	16－	薄・深・孤・凹・裏
72	1－ 5	薄・深・連・凸・表裏片線　（鋸歯）
73	5－ 7	平・深・連・直・表

表3　剥片観察表(1)

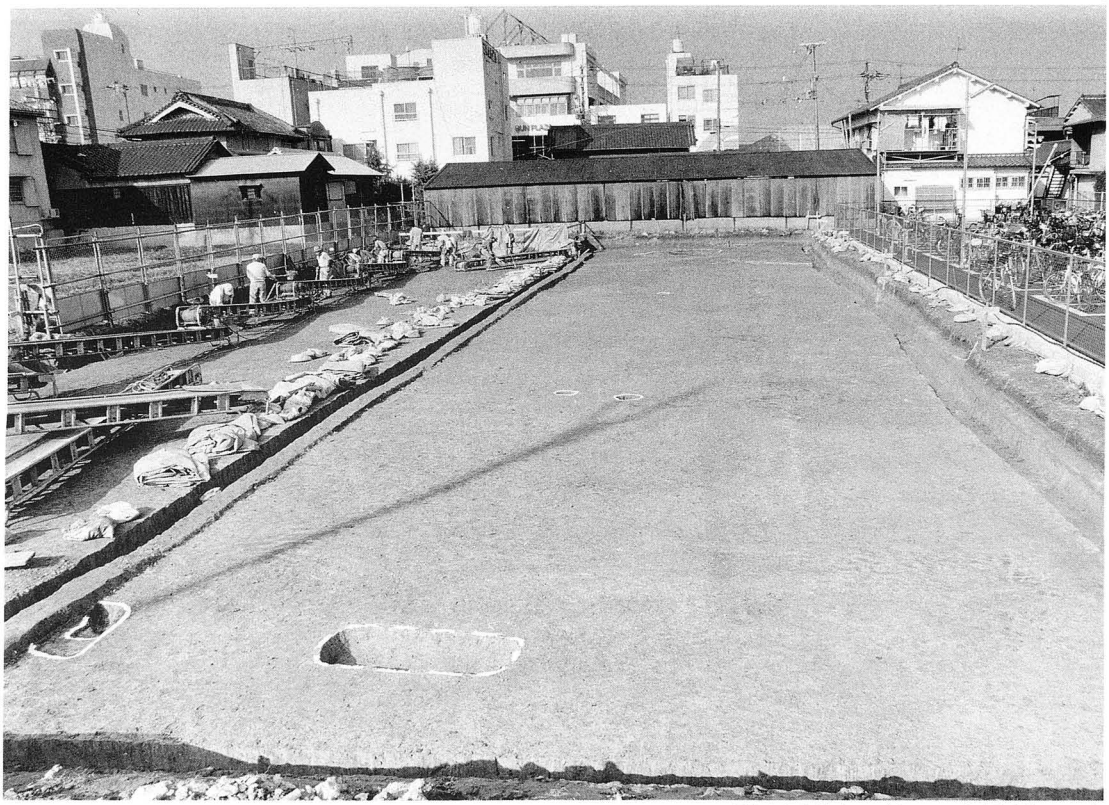
番号	出土層位	磨滅度	単純最大長 mm	単純最大幅 mm	最大厚 mm	最大長 mm	最大幅 mm	バルブの厚さ mm	剥離軸中央部厚 mm	完形度	形態分類	中央断面形	平面形	最大厚部分	最大厚部分のびる方向	石核・石器	打面の形態	打面の傾き	打面作製細部調整	打面の平面形	打面縁部形	打点位置	打撃角(度)	打面の幅 mm	打面厚 mm	原面	先行剥離数	先行剥離面の方向	稜数	稜の規則性	稜の方向	二重バルブ	バルブの発達	先端波状剥離	波状面	線状痕	垂直割れ(ヒビ)	技術を示す部分	打撃による事故	深形連続細部調整	その他の細部調整	折れ面
6	第5層	×	92.8	37.2	18.9	37.2	92.8	−	−	完形	横形剥片	−	−	−	−	石槍	おそらく原面上調整	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−											基端と左側に原面		○	×	
7	側溝	×	49.9	21.0	8.8	21.0	49.9	8.2	8.8	ほぼ完形	横形剥片	不等辺三角形	四角形	19	19→0	石錐(14P)	(多面)	裏	平・深(階段)	不等辺三角形	凸形	右	110	24.3	8.4	なし	4	20→9、15→9、12→20 19→9	3	規	斜	×	B	×	×	×	×		ヒンジ	○	×	1−4↓
8	第5層	×	55.8	47.7	19.9	54.8	32.0	19.9	15.4	完形	剥片	三角形	四角形	19	19→0	クラクトン型ノッチ	原面上	裏	−	三角形	凸形	左	110	28.7	19.4	なし	4	19→9、9→19、3→10 ?	3	規	多方向	×	A	×	○	○	×			○	×	
9	第7層	×	74.3	45.0	7.9	56.1	71.2		6.8	完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	14.4	14→4	複刃削器	欠損(リタッチのため)	−	−	−	−	−	−	−	−	部分	2	7→17、17→7	1	不	横	−	A	×	×	×	×	表面両縁(3−5)(13−15)に原面		○	×	
10	第5層	×	63.7	36.0	7.8	41.4	53.4	6.7	7.1	完形	横形剥片	レンズ状	四角形	0	0→19	複刃削器	原面上	裏	−	台形	凸形	ほぼ中央	105	38.7	7.1	なし	2	1→11、19→9	1	不	多方向	×	A	×	○	○	×			○	×	7−8↑ 4−7↕(このあとリタッチ)
11	第5層	×	49.9	42.0	10.1	48.2	41.3	6.4	1.1	完形	剥片	台形	五角形	1	1→0	複刃削器	原面上	裏	−	四角形	凸形	左	115	27.0	5.1	なし	多数	多方向	多数	不	多方向	×	B	○	×	○	×			○	○	
12	第4層	×	(34.9)	24.1	7.3	(23.7)	34.8	−	−	先端	−	−	−	−	−	直刃削器	−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	1	9→19	0	×	×	−	−	×	×	○	×			○	×	5−13(新しい折れ)
13	第4層	×	44.4	40.3	6.3	35.6	40.1	−	3.5	完形	横形剥片	不等辺三角形	四角形	0	9←0→14	横形削器	線状	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	2	12→6、16→2	1	規	横	−	−	○	×	×	×			○	×	
14	第5層	×	39.1	35.8	10.3	38.1	34.9	−	9.6	完形	剥片	台形	五角形	0	0から周縁	ビエス・エスキエ	調整で除去	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	5	4→14、14→4、17→7、9→19(2)	6	不	多方向	−	−	×	×	×	×			○	○	
15	第5層	×	134.8	53.1	21.8	91.5	106.4	10.9	21.1	完形	横形剥片	平行四辺	五角形	0	−	彫器	剥離面	裏	−	三角形	凹形	右寄り	115	66.4	16.4	部分	3	17→10、20→8、7→14	2	規	斜	○(並列)	B	×	×	×	×	(11→13)	一部ヒンジ	○	○	
22	第6層	×	60.7	50.5	9.4	51.9	60.2	7.9	7.4	完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	18	18→10		原面上	裏	−	不等辺三角形	凸形	中央	110	35.2	10.6	なし	2	20→8、17→10	1	規	縦	○(並列)	B	×	×	×	×		先端段	○	○	12−13↓(新しい折れ) 13−17↑(同時)
23	第6層	×	59.6	26.4	9.7	59.6	26.4	−	−	完形	石刃状剥片	不等辺三角形	三角形	4	9←4→19		点状(原面上)	−	−	点状	−	−	−	−	−	1/3	0		0	−	−	×	A(ハジケ)	×	×	○	×	同時剥離のため表面がボジ	台石上打撃	×	○	
24	第6層	×	37.1	35.7	7.4	(32.8)	(35.0)	5.1	5.8	基端	−	不等辺三角形	四角形	14	14→0		調整(二面・頂部)	裏	極厚	不等辺三角形	凸形	中央	120	16.1	5.3	なし	1	8→18	0	−	−	×	B	×	×	×	×			×	×	4−14(新しい折れ)
25	第6層	×	50.8	30.9	7.8	(49.5)	28.0	4.0	6.3	先端欠け	石刃剥片?	台形	四角形?	18	18→0		原面上	裏	−	三角形	直線形	−	120	14.0	6.9	なし	3	4→14、14→4、?	2	規	縦	×	A	×	×	○	×			×	○	7−11↑
26	第6層	×	(33.9)	(19.6)	(6.4)	(16.0)	(34.0)	−	−	小部分	−	−	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	1		0	−	−	−	−	−	−	−	−			×	×	
27	第6層	×	39.8	30.9	10.2	29.9	36.0	6.9	5.8	完形	横形剥片	不等辺三角形	四角形	18	18→0		剥離面	水平	−	三角形	凸形	ほぼ中央	95	24.3	10.4	なし	2	19→9、18→8	1	不	−	×	B(ハジケ)	×	×	×	×	右側原面		○	○	
28	第6層	×	62.0	52.1	15.4	47.3	55.8	4.0	10.0	完形	横形剥片	四角形	四角形	14	11←14→17		調整(二面・頂部)	裏	平・侵	四角形	凸形	左	125	33.7	11.5	なし	3	19→9(2)、9→19	2	不	横	×	A	×	○	×	×	右側半分原面(10−14裏)		×	×	
29	第5層	×	49.9	17.8	5.3	(19.6)	49.8	−	−	先端	−	−	−	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−		先端段	○	×	
30	第5層	×	37.8	36.2	4.9	32.0	36.0	4.9	3.6	ほぼ完形	横形剥片	三角形	五角形	19	19→0		剥離面	裏	−	三角形	凸形	中央	100	13.0	3.6	小部分	3	7→17、17→7、19→9	2	不	横+斜	○(並列)	C	×	○	×	×		ヒンジ	×	○	4−7↑
31	第5層	×	37.8	29.2	6.2	(37.8)	21.8	2.3	4.4	ほぼ完形	剥片	不等辺三角形	四角形	7	7→5		原面上	裏	−	三角形	直線形	中央	115	5.0	1.9	小部分	2	17→7、20→7	1	規	縦	×	A	×	×	×	×			○	○	7−8↕
32	第5層	×	80.2	61.2	10.6	76.9	59.0	10.6	8.4	完形	剥片	不等辺三角形	多角形	19	19→0		剥離面	裏	−	四角形	凸形	左	110	32.7	9.1	小部分	4	19→9(2)、9→19 11→1	3	規	斜+横	×	C	×	×	×	×			○	○	
33	第5層	×	60.0	27.6	8.1	37.5	53.5	6.8	5.9	完形	横形剥片	台形	三角形	19	19→0		剥離面	裏	−	四角形	凸形	右	130	41.4	8.5	なし	2	19→9、1→11	1	規	横	○(並列)	B	×	×	×	×			○	○	
34	第5層	×	46.5	29.5	11.5	44.7	26.8	9.9	11.0	左半分	剥片	不等辺三角形	四角形	14	11←14→19		原面上	裏	−	三角形	凸形	左端	120	7.2	6.3	なし	2	19→9、17→7	1	不	縦	○(3)(並列)	A	×	○	×	垂直割れ		先端段	×	○	9−19(同時)
35	第5層	×	59.0	52.1	8.9	52.9	58.0	8.3	6.5	完形	横形剥片	レンズ状	五角形	18	18→0		原面上	裏	−	三角形	凸形	中央	115	51.9	9.0	小部分	3	19→4、17→7、11→1	2	不	多方向	○(並列)	B	×	×	×	×	礫の初期段階		×	○	
36	第5層	×	(56.3)	(45.0)	9.6	(51.9)	(48.0)	6.9	6.4	完形	剥片	四角形	五角形	14	11←14→17		原面上(ほぼ山形頂部)	裏	−	四角形	凸形	右	115	29.7	6.2	なし	4	17→7、11→1、17→11 7→4	3	不	多方向	×	B	×	×	×	×	右側面原面		×	○	
37	第5層	×	(65.8)	34.5	14.0	36.0	(65.8)	8.9	8.8	完形	横形剥片	翼状	四角形	19	19→0		剥離面	裏	−	四角形	凸形	ほぼ中央	130	33.7	13.3	なし	3	19→9、20→10、8→16	2	不	横+斜	×	B	×	×	×	×	打面につづく右側原面	ヒンジ	×	×	
38	第5層	×	43.3	34.0	9.5	43.2	33.1	9.1	7.8	完形	剥片	台形	四角形	19	19→0		原面上	裏	−	台形	凸形	左端	110	19.9	8.1	全面	0	×	0	−	−	×	A	×	×	×	×	全面原面		×	×	
39	第5層	×	71.0	33.5	12.7	35.8	70.9	−	12.0	完形	横形剥片	不等辺三角形	三角形	19	19→0		原面上	−	−	−	−	−	110	−	−	1/3	1	13→2	1	規	横	×	ハジケ	×	×	×	×			×	×	
40	第5層	×	57.3	45.6	13.6	55.5	(43.2)	13.1	12.9	ほぼ完形	剥片	三角形	四角形	19	19→0		剥離面	裏	−	台形	凸形	中央	125	31.2	13.4	2/3	1	17→8	1	規	縦	×	A	×	○	×	×			×	×	11角
41	第5層	×	65.0	48.5	12.9	49.0	63.0	6.4	11.5	完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	20	20→0		剥離面	表	−	不等辺三角形	直線形	ほぼ中央	80	10.0	2.2	なし	1	17→7	0	−	−	×	A	×	○	○	×		ヒンジ	○	×	
42	第5層	激しい	65.9	36.9	19.0	36.0	66.1	16.5	12.2	完形	横形剥片	不等辺三角形	三角形	17	17→0		剥離面	裏	−	不等辺三角形	凸形	右	105	66.7	19.7	なし	1	9→19	0	−	−	×	B	×	×	×	×			×	×	11−17(新しい折れ)
43	第4層	×	56.0	38.0	10.5	38.5	54.9	6.9	10.1	完形	横形剥片	四角形	四角形	18	18→0		原面上(頂部)	裏	−	四角形	凹形	ほぼ中央	125	55.9	10.7	なし	3	19→9、20→13、17→9	2	不	横+斜	×	A	×	×	○	×			×	○	
44	第4層	×	49.5	41.8	8.3	49.5	42.1	8.1	8.3	完形	剥片	不等辺三角形	五角形	18	18→0		原面上(頂部)	裏	−	三角形	凸形	ほぼ中央	105	24.8	9.1	1/3	2	4→14、14→4	2	不	縦	○(並列)	A	×	×	×	×			×	×	
45	第4層	×	47.6	46.9	37.0	44.5	40.3	12.7	13.0	左半分	横形剥片	不等辺三角形	五角形	19	19→0		原面上	裏	−	三角形	凸形	右	125	28.9	14.3	なし	3	8→12、19→9,20→10	3	不	多方向	×	A	×	○	○	×			○	×	11−7↓(先端段が反対側にできている)
46	第4層	×	59.0	40.1	8.9	49.0	41.7	5.0	8.9	ほぼ完形	剥片	不等辺三角形	五角形	0	0→9		原面上	裏	−	不等辺三角形	凸形	左	105	23.8	4.4	1/2	2	17→7、20→6	2	規	縦	×	A	×	×	×	×			×	○	7−8↓
47	第4層	×	37.9	23.4	11.1	(24.2)	(37.8)	−	−	先端	−	五角形	五角形	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	2	5→13、13→5	1	不	縦	−	−	−	−	−	×			○	×	9−17↓ 6−12↑
48	第4層	×	54.9	28.7	14.9	(28.7)	(54.9)	−	−	中央	横形剥片	台形に近い	四角形	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	2	10→18、14→4	2	規	斜	−	−	−	−	−	×			×	○	1−2↑ 7−11↘ 11↔17(オレ)
49	第4層	×	41.8	22.4	8.8	30.5	36.0	5.6	6.4	完形	横形剥片	不等辺三角形	三角形	20	20→0		原面上	表	−	不等辺三角形	直線形	ほぼ中央	85	36.2	8.7	なし	1	20→8	0	−	−	−	−	×	×	×	×	先行剥離が垂直割れをおこしている		×	×	
50	第4層	×	51.9	24.2	6.2	35.7	24.5	−	−	完形	石刃状剥片	不等辺三角形	三角形	0	−		点状	−	−	点状	−	−	−	−	−	1/2	2	2→12、6→16	2	不	斜	○(12)	A(ハジケ)	×	×	×	垂直割れ(19−14)			×	○	
51	第4層	×	(24.2)	21.5	3.5	(23.1)	(19.1)	2.7	2.5	基端	剥片	台形	四角形	4	1←4→7		ハジケ	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	1	14→4	0	−	−	−	−	−	−	−	×			×	×	4−14↑ 19−9↑(同時)
52	第4層	×	25.1	15.8	4.9	15.8	25.1	−	−	先端	−	−	四角形	−	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	なし	2	7→17、19→11、?	2	不	斜	−	−	○	−	−	×			×	×	11−17↑ 17−7↕

表４　剥片観察表（２）

番号	出土層位	磨滅度	単純最大長 mm	単純最大幅 mm	最大厚 mm	最大長 mm	最大幅 mm	バルブの厚さ mm	剥離軸中央部厚 mm	完形度	形態分類	中央断面形	平面形	最大厚部分	最大厚部分のびる方向	石核・石器	打面の形態	打面の傾き	打面作製細部調整	打面の平面形	打面縁部形	打点位置	打撃角(度)	打面の幅 mm	打面厚 mm	原面	先行剥離数	先行剥離面の方向	稜数	稜の規則性	稜の方向	二重バルブ	バルブの発達	先端波状剥離	波状面	線状痕	垂直割れ(ヒビ)	技術を示す部分	打撃による事故	深形連続細部調整	その他の細部調整	折れ面
53	第４層	×	51.2	19.4	8.4	51.2	19.4	6.0	6.0	完形	石刃状剥片	不等辺三角形	三角形	4	1←4→7		原面上	水平	－	四角形	凸形	右端	95	12.0	4.9	なし	1	19→9	0	×	×	×	A（ハジケ）	×	×	○	×	左側面原面		○	×	
54	第４層	×	92.3	63.0	26.9	61.4	92.5	20.4	19.0	完形	横形剥片	平行四辺形	四角形	21	21→7		剥離面(原面と山形をなす)	裏	－	四角形	凸形	中央	115	92.4	24.7	なし	3	19→9、6→10、12→6	3	規	横＋斜	×	A	×	×	×	×		ウットルパセ	×	×	
55	第４層	×	32.0	27.5	4.1	25.8	29.1	－	－	先端	－	四角形	四角形	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	2	19→9、5→2	1	不	縦	－	－	×	×	×	×					17－21↑（同時か？）7－11↑
56	第５層	×	45.9	49.3	13.7	38.2	46.1	4.8	9.8	完形	横形剥片	三角形	四角形	7	7→0		剥離面	裏	－	三角形	凸形	ほぼ中央	110	8.9	2.2	なし	6	多方向	多数	不	多方向	×	A	×	×	×	×					1－17
57	第６層	あり	41.3	38.2	11.0	40.2	37.8	9.8	10.7	完形	剥片			19	19→9		剥離面	裏	－	四角形	凸形	ほぼ中央	110	18.4	3.8	全面	0		×	×	×	×	B	×	×	×	×			×	×	8－10
58	第６層	×	62.9	36.2	9.1	35.5	67.5	6.3	5.6	ほぼ完形	横形剥片	四角形	五角形	19	19→0		原面上	ほぼ水平	－	四角形	凸形	ほぼ中央	105	38.8	9.1	部分	2	19→9、3→13	2	規	斜	×	C	×	○	○	×	表面に底面的なものがある。半分が原面で半分が打面	キズのためバルブ部で	×	×	6－8↓
59	第６層	×	87.6	71.3	18.5	77.0	87.3	16.1	14.3	完形	横形剥片	四角形	五角形	19	19→0		剥離面	裏	－	不等辺三角形	凸形	右寄り	120	50.4	16.5	なし	6	多方向	多数	不＋規	多方向	×	A	×	○	○	×			○	○	
60	第６層	×	71.3	64.2	12.0	66.9	43.2	8.0	7.9	完形	剥片	四角形	四角形	12	11←12→17		原面上	裏	－	台形	凸形	ほぼ中央	105	26.1	8.1	部分	5	多方向	多数	不	多方向	×	A	×	○	×	×	右側面と先端面に原面		×	×	
61	第５層	×	61.8	43.6	13.8	56.1	45.5	16.2	7.1	完形	剥片	三角形	四角形	19	19→0		剥離面	裏	－	三角形	凸形	ほぼ中央	130	22.7	16.1	なし	4	16→4、14→3、1→11 9→19	3	不＋規	叉状	×	A	○	○	×	×			○	○	
62	第５層	×	27.2	19.8	4.4	24.0	22.1	4.0	4.2	基部欠け	－	三角形	五角形	20	20→0		ハジケ(おそらく剥離面)	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	3	?、2→11、17→7	2	不＋規	斜＋横	×	A	×	×	×	×			×	×	4－7↓ 11－14（新しい折れ）
63	第５層	×	39.9	37.8	9.1	(37.8)	(39.9)	－	－	ほぼ完形	横形剥片	五角形	五角形	0	4←0→14		欠損（新しい）	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	4	7→17、11→19、20→11 17→11	3	不	横＋斜	－	－	×	×	×	×	左側面原面		×	○	11－14 8－9と18－20は新しい折れ
64	第４層	×	33.1	29.1	6.0	31.5	29.3	4.6	5.5	中央部分	剥片	三角形	四角形	0	0→14		欠損	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	2	4→14、14→4	1	不	縦	－	－	－	－	－	－			○	○	3－8↑ 8－13↑ 17－21（同時・ヒビオレ）
65	第４層	×	29.2	28.9	5.8	28.2	(28.7)	6.6	5.0	ほぼ完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	19	19→0		調整（原面と剥離面）	裏	平・侵	台形	凸形	中央	110	17.7	6.1	なし	4	16→4、17→9、7→17 10→21	3	不	多方向	×	A	×	×	×	×			○	○	
66	第４層	×	64.0	53.0	16.4	52.8	63.3	－	16.4	完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	0	0から周縁		ハジケ(おそらく剥離面)	裏	－	－	－	－	－	－	－	小部分	6	多方向	多数	規＋不	多方向	×	A（ハジケ）	×	×	○	×			×	○	
67	第７層	×	52.3	39.0	7.1	40.1	49.0	6.0	7.1	完形	横形剥片	台形	四角形	0	0→4		原面上	ほぼ水平	－	不等辺三角形	凸形	右	100	22.4	4.1	なし	3	9→19、4→21、7→17	2	規	斜	×	B	×	×	×	×			○	×	
68	第５層	×	43.0	30.2	6.4	40.5	29.9	6.2	4.2	右半分	剥片	平行四辺形	三角形	19	21←19→17		原面上	裏	－	五角形	凸形	左端	115	15.3	6.4	なし	2	13→7、19→11	1	規	縦	×	A	×	○	○	垂直割れ		わずかにヒンジ	×	×	7－9
69	第５層	×	36.5	24.5	6.2	23.0	29.1	－	－	小部分	－	(四角形)	(四角形)	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	2	(4→11)、(4→14)	1	不	横	－	－	×	×	○	×			○	×	(4)－(9)↑ (4)－(14)↑
70	第５層	×	47.0	29.5	13.0	28.5	46.4	8.2	7.6	完形	横形剥片	不等辺三角形	三角形	1	1→4		原面上	裏	－	四角形	直線形	中央	85	46.4	13.1	なし	3	19→9、17→11、?	2	不	斜＋縦	×	A	×	×	×	×	打面からつづく左側面原面		○	×	
71	第５層	×	79.0	48.2	10.5	48.0	78.5	6.2	6.5	完形	横形剥片	不等辺三角形	五角形	4	4→7		剥離面	裏	－	四角形	凸形	左・中央	115	53.5	11.2	なし	3	19→9、1→11、20→9	2	規＋不	斜	○（並列）	C	×	×	×	×		先端段	○	○	
72	第５層	×	43.5	30.6	10.2	40.2	35.1	4.7	7.0	完形	剥片	不等辺三角形	半円形	14	14→9		ハジケ	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	1	10→19？	0	×	×	×	A	×	○	×	×	右側面原面。両極技法で取れた剥片		○	○	
73	第５層	×	35.0	32.5	11.0	34.2	27.5	－	－	小部分	－	(四角形)	(四角形)	13？	(13)→(5)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	1	9→19	0	×	×	－	－	×	×	×	×	右側面原面		×	×	1－7(新しい折れ) 7－11↓(新しい折れ)
74	第５層	×	64.3	40.8	12.6	40.8	61.8	11.3	9.6	完形	横形剥片	不等辺三角形	三角形	21	7←21→17		調整（二面・頂部）	裏	極厚・侵	不等辺三角形	凸形	左寄り	105	32.2	14.0	なし	1	18→8	0	×	×	×	B	×	×	×	×			×	×	
75	第５層	×	28.9	15.2	2.5	28.5	15.0	2.4	1.8	右半分	剥片	三角形	三角形	19	19→9		剥離面(原面と山形をなす)	ほぼ水平	－	不等辺三角形	凸形	中央	95	4.8	1.9	なし	1	19→9	0	－	－	×	A	×	×	×	垂直割れ			×	×	
76	側溝	×	44.0	34.0	13.0	40.5	41.2	－	7.1	基部欠け	横形剥片？	四角形	四角形	10	10→7		ハジケ	－	－	－	－	－	－	－	－	1／3	1	18→10	0	－	－	－	－	×	×	○	×	右側と先端面は原面		×	○	
77	第３層	激しい	53.5	36.8	14.6											礫																								○	×	
78	第３層	激しい	57.9	31.1	13.2	55.8	39.0	9.9	8.9	完形	石刃状剥片	不等辺三角形	五角形	11	11→9		ハジケ	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	1	5→13	0	－	－	×	A（ハジケ）	×	×	×	×	右側面原面(1－9)		×	○	
79	第３層	×	48.0	37.0	6.0	38.5	40.8	4.4	3.5	完形	横形剥片	不等辺三角形	多角形	19	19→7		口唇状	裏	薄・深	口唇状	凸形	ほぼ中央	130	17.9	4.4	なし	多数	多方向	多数	不	多方向	×	A	×	×	×	×	ポイント・フレイク		×	×	
80	LN146	×	34.5	23.0	3.0	33.5	25.3	2.7	2.8	完形	剥片	不等辺三角形	五角形	19	19→0		ハジケ	－	－	－	－	－	－	－	－	なし	3	4→14、14→9、17→9	2	不	斜	○(4、直向)	A（ハジケ）	×	○	×	×			×	○	4－7（新しい折れ）
81	第５層	×	67.8	46.0	10.4	47.5	60.2	9.0	5.5	完形	横形剥片	不等辺三角形	四角形	18	17←18→19		調整？	裏		四角形	凸形	左	120	49.5	10.5	なし	1	風化のため不明		－	－	－	A	－	－	－	×			－	－	2－3↓ 11－17
82	第５層	×	94.9	54.1	14.0	71.8	66.8	13.6	11.5	ほぼ完形	剥片	四角形	三角形	19	19→0		剥離面	裏		四角形	凸形	ほぼ中央	105	50.8	14.7	なし	2	18→7、14→9	1	規	斜	×	B	×	×	×	×		ヒンジ	×	×	

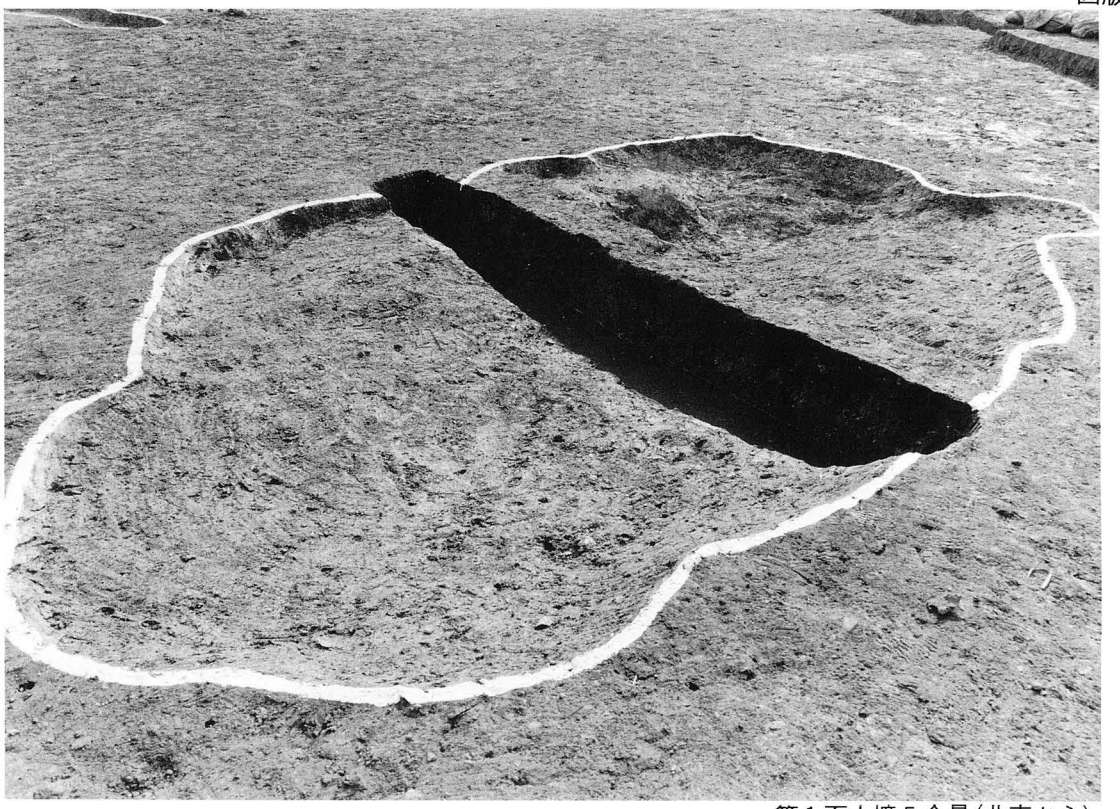
喜志西　遺跡遠景(北から)

調査地遠景(西から)



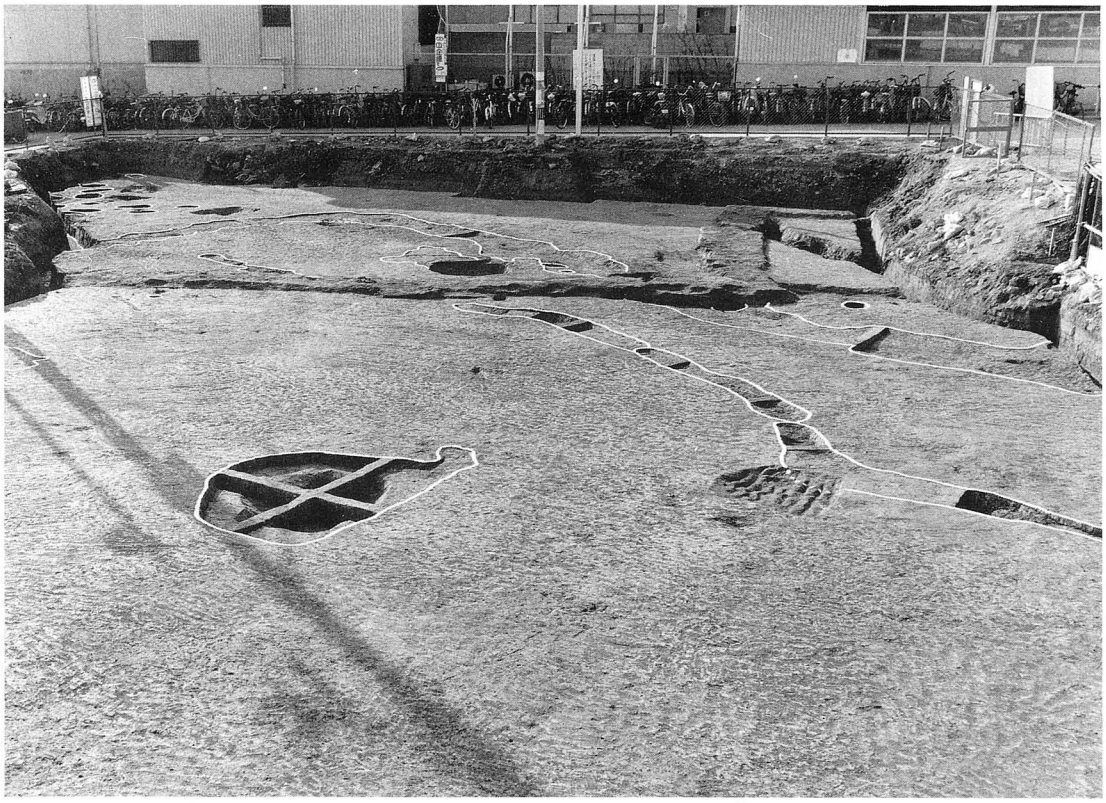
調査区北部　第１面全景（南から）

調査区北部　第１面全景（北から）

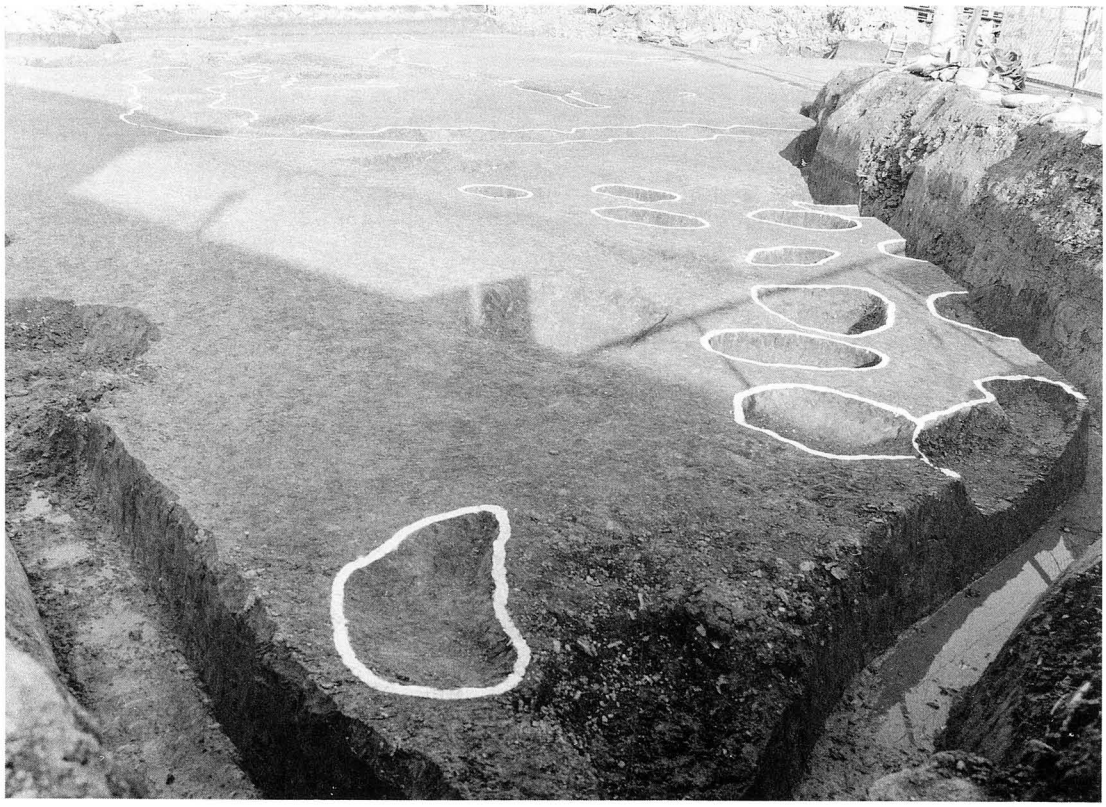


第 1 面土壙 5 全景（北東から）

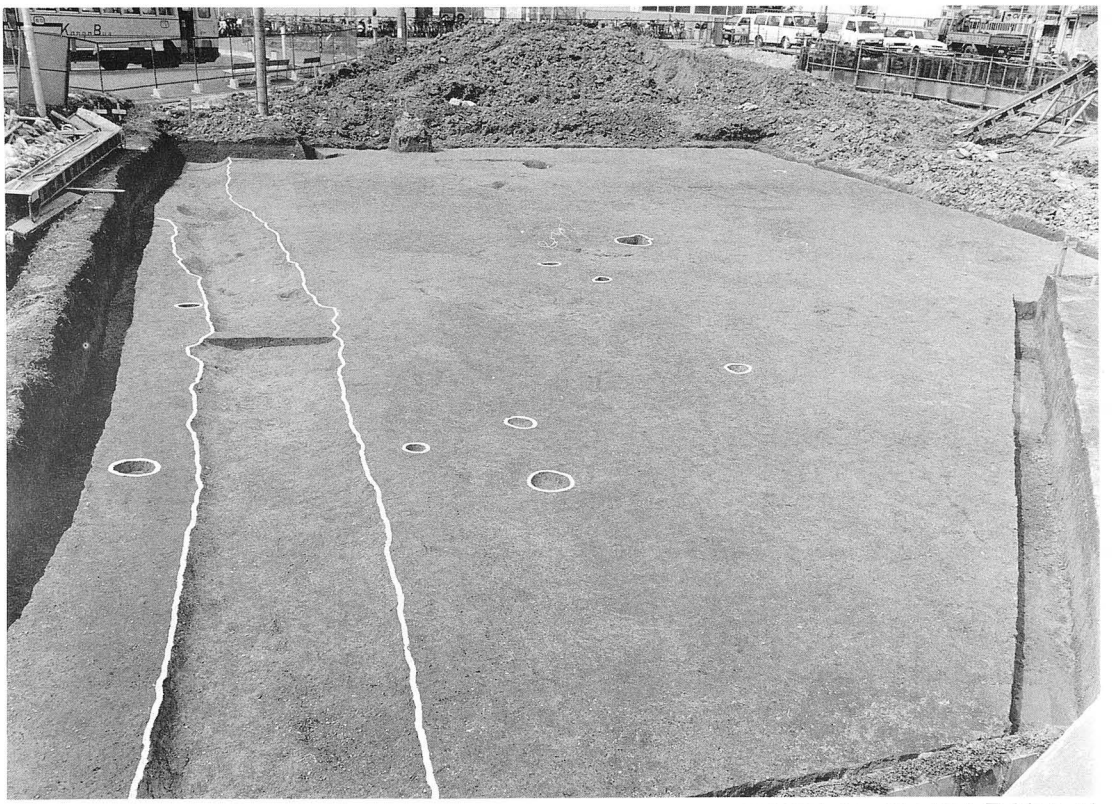
第 1 面ピット26全景（東から）



調査区西部　第１面全景（東から）



調査区西部　第１面全景（西から）



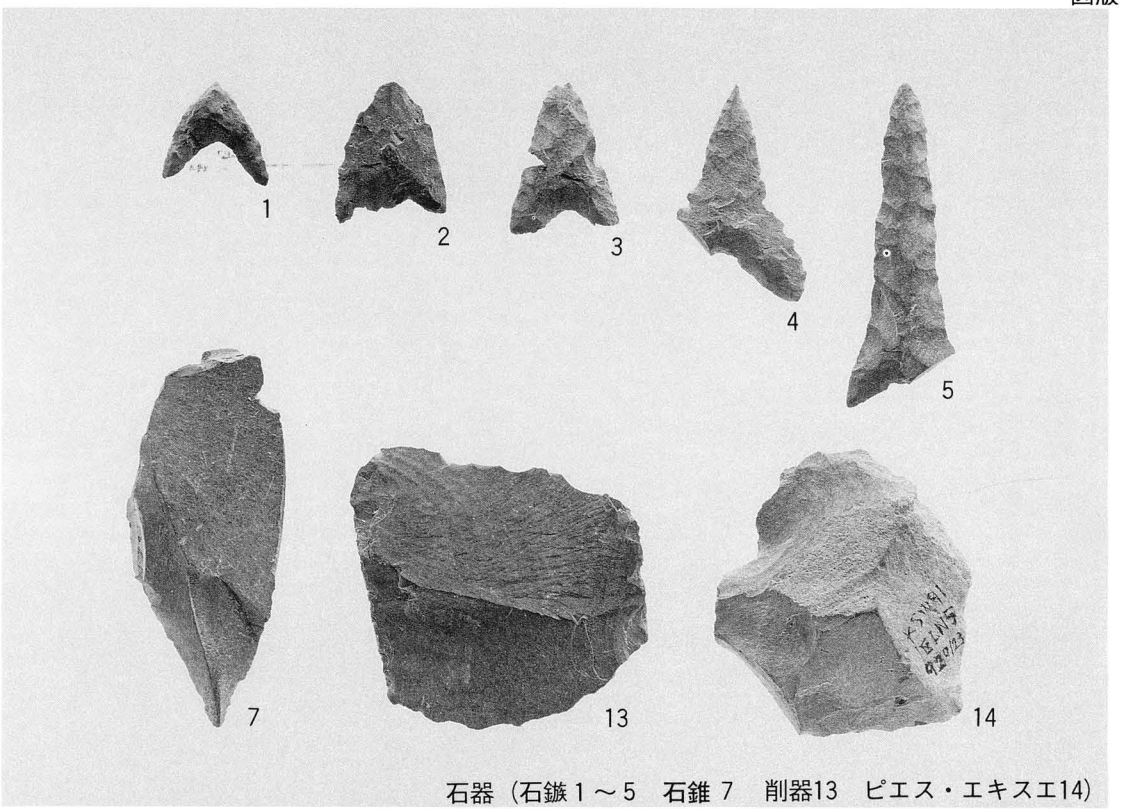
調査区南部　第１面全景（東から）

調査区南部　第１面全景（西から）

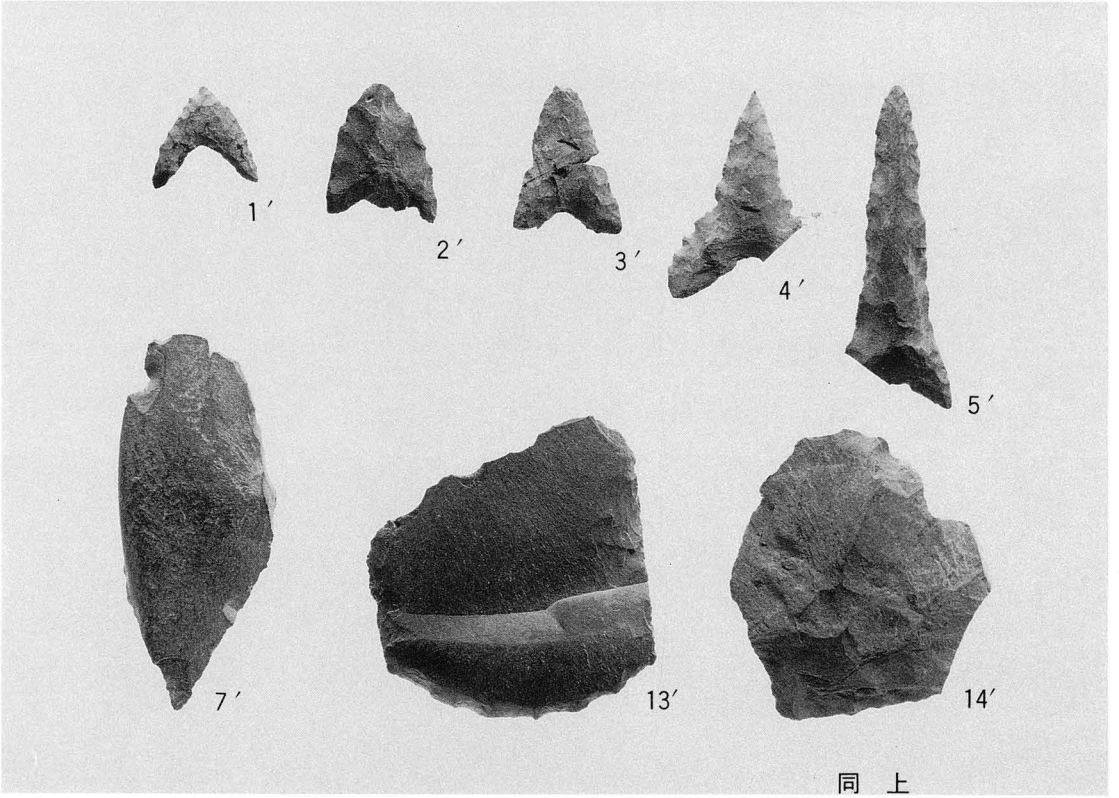
調査区北部　第 2 面航空写真

調査区西部　第 2 面航空写真

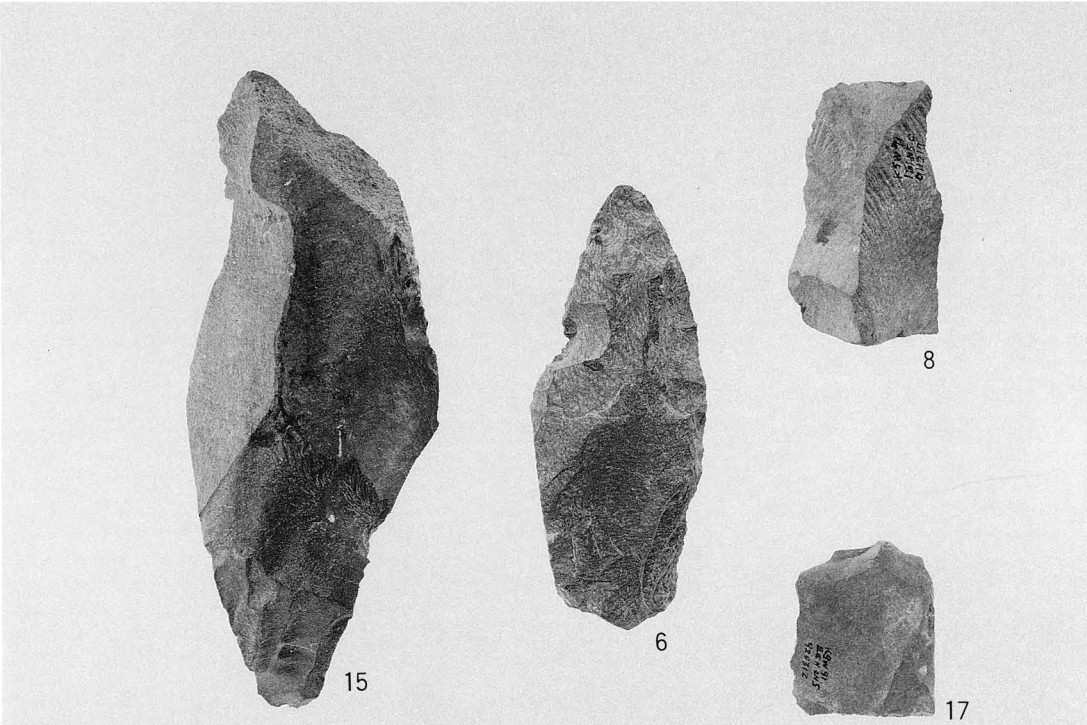
調査区南部　第 2 面航空写真



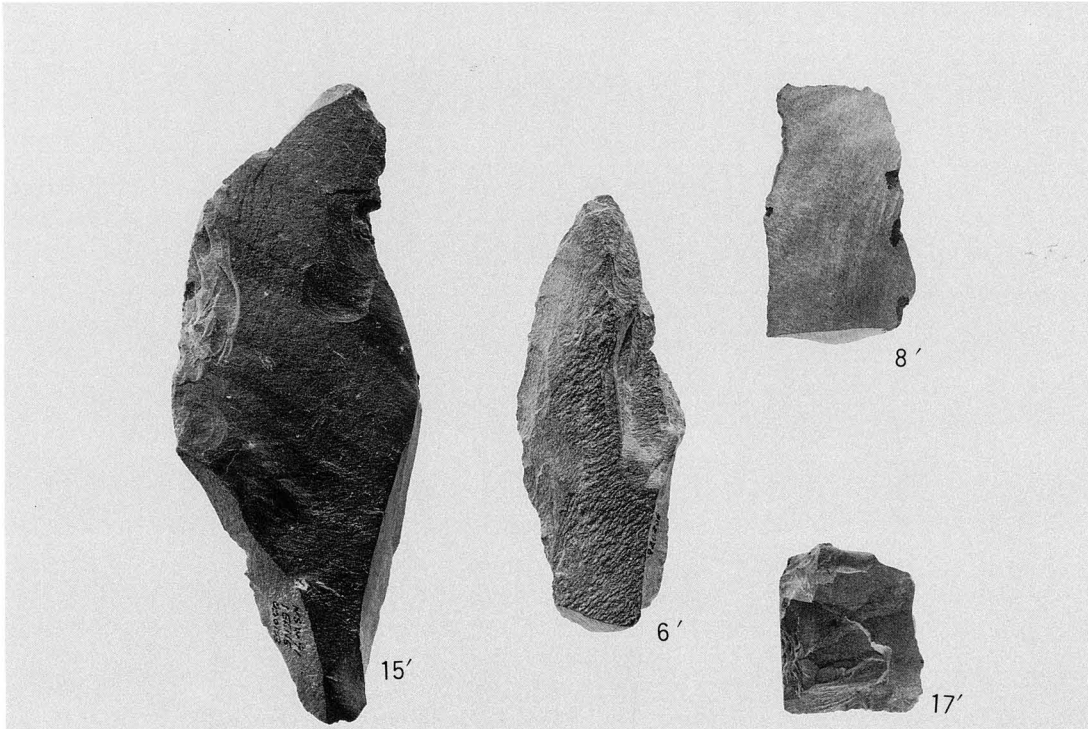
石器（石鏃 1 ～ 5　石錐 7　削器13　ピエス・エキスエ14）



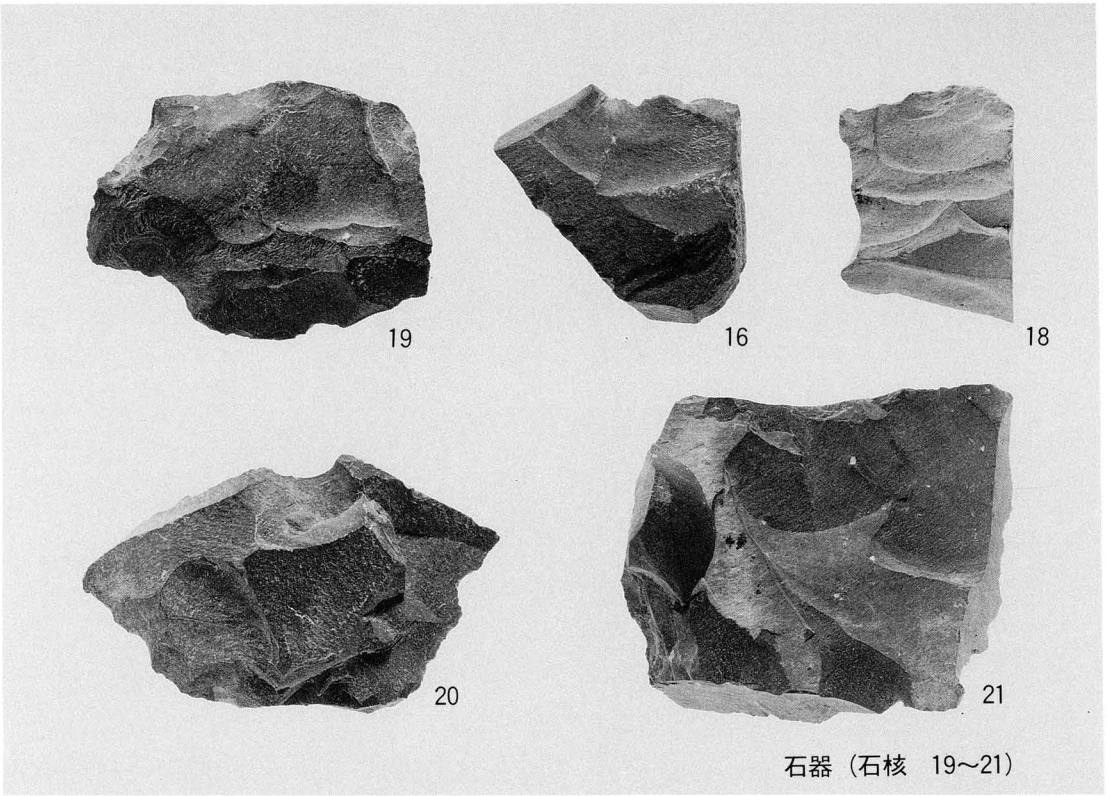
同　上



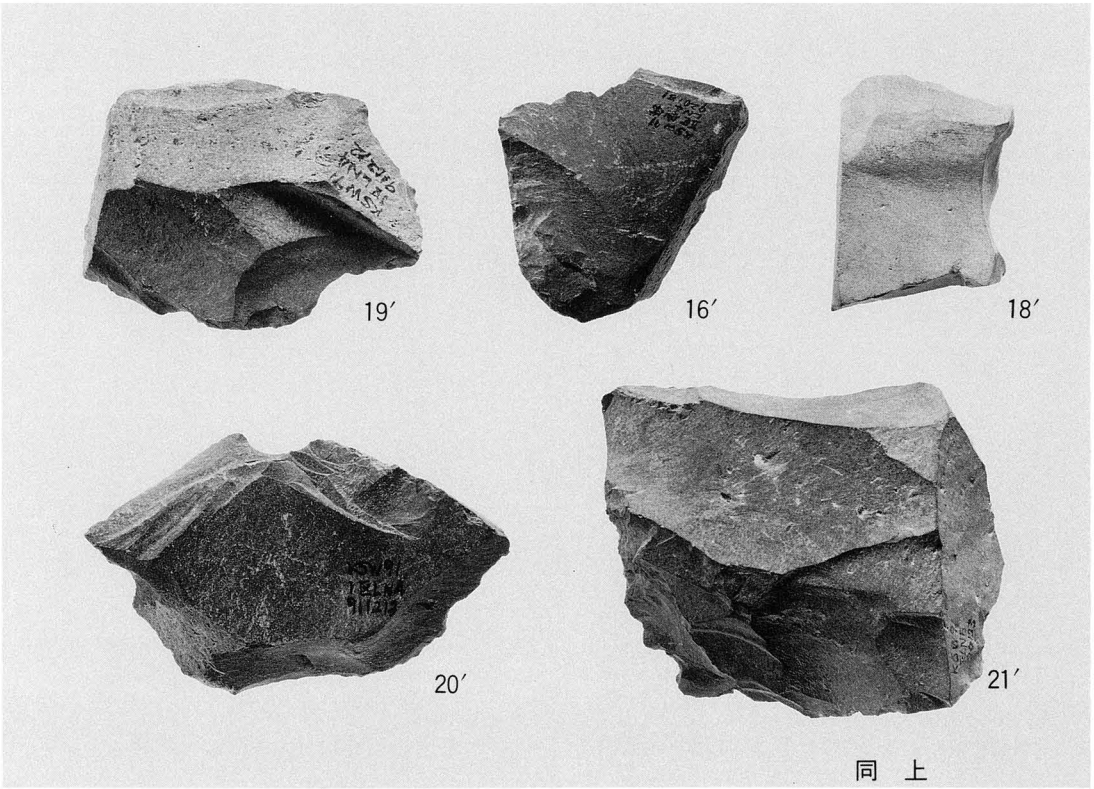
石器（彫器15　石槍６　クラクトン型ノッチ８　石核17）



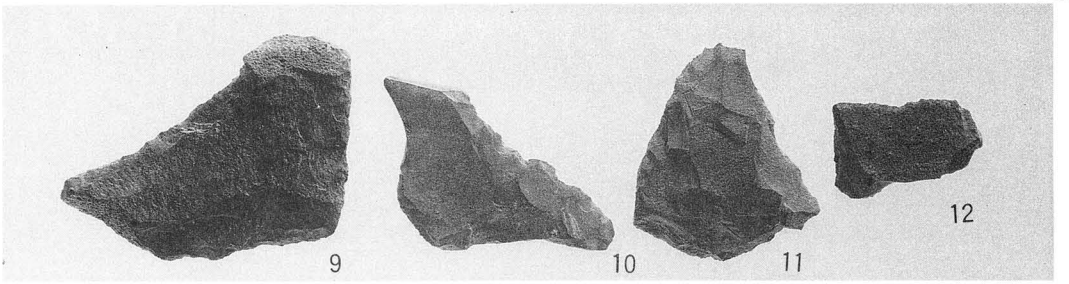
地　　同　上

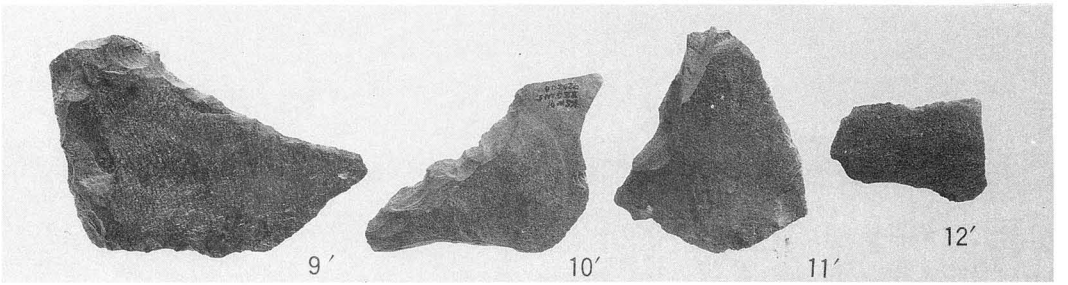


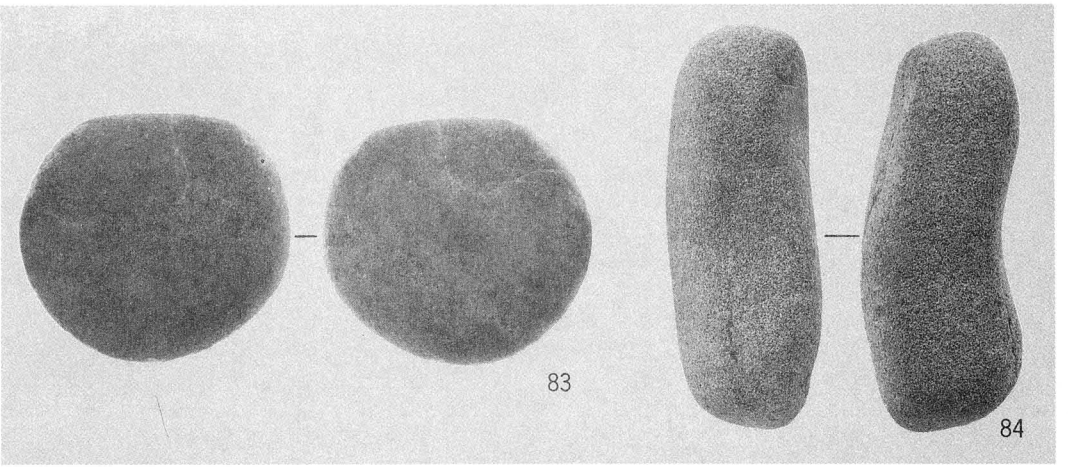
石器（石核　19～21）

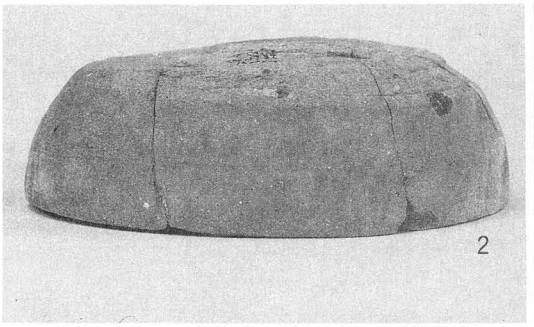


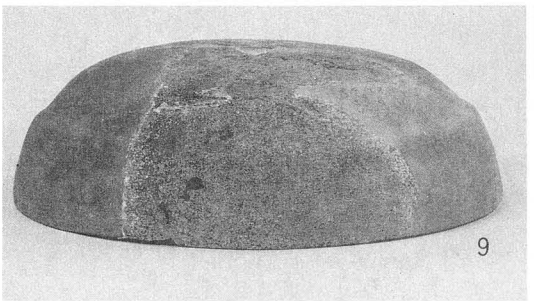
同　上

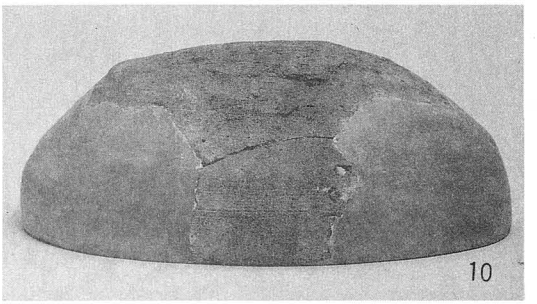












石器（削器９～12　ハンマー83、84）　土器（蓋杯）

富田林市埋蔵文化財調査報告23

発行年月日　1993年3月31日
編集・発行　富田林市
住　　所　富田林市常盤町1番1号
印　　刷　汐の宮綜合印刷

1993. 300